

MILCO.S

アプリ

設備インターフェース機器用 (Windows 用)

設定アプリ

ユーザーズ・マニュアル

Ver.1.14

三菱電機照明株式会社

目 次

1. 概要.....	1
1-1. 概要.....	1
1-2. システム構成.....	1
2. インストール、起動と終了.....	3
2-1. ソフトウェアのインストール.....	3
2-2. ソフトウェアの起動.....	3
2-3. ソフトウェアの終了.....	4
2-4. ソフトウェアの画面サイズ変更.....	4
2-5. 起動時の初期処理.....	5
3. 画面一覧.....	6
3-1. スプラッシュ画面.....	8
3-1-1. 概要.....	8
3-1-2. 画面仕様.....	8
3-1-3. 動作仕様.....	9
3-2. 【共通】対象選択部.....	10
3-2-1. 概要.....	10
3-2-2. 画面仕様.....	10
3-2-3. 動作仕様.....	11
3-3. 【共通】送信・受信ボタン.....	12
3-3-1. 概要.....	12
3-3-2. 画面仕様.....	12
3-3-3. 動作仕様.....	12
3-4. 【共通】タブメニュー.....	13
3-4-1. 概要.....	13
3-4-2. 画面仕様.....	13
3-4-3. 動作仕様.....	13
3-5. 【共通】時刻・時間選択部.....	14
3-5-1. 概要.....	14
3-5-2. 画面仕様.....	14
3-5-3. 動作仕様.....	14
3-6. 【共通】インフォメーション表示.....	15
3-6-1. 概要.....	15
3-6-2. 画面仕様.....	15
3-6-3. 動作仕様.....	15
3-7. 【共通】エラー表示.....	16
3-7-1. 概要.....	16
3-7-2. 画面仕様.....	16
3-7-3. 動作仕様.....	16
3-8. 【共通】印刷機能.....	17
3-8-1. 概要.....	17
3-8-2. 画面仕様.....	17
3-8-3. 動作仕様.....	18
3-9. 【共通】タッチパネル、タブレット PC でのタッチ操作.....	19
3-9-1. 概要.....	19
3-9-2. キーパッド画面仕様.....	20
3-9-3. キーパッド動作仕様.....	20
3-10. シーン選択画面.....	21
3-10-1. 概要.....	21
3-10-2. 画面仕様.....	21

3-10-3. 動作仕様	22
3-11. 調光操作画面	23
3-11-1. 概要	23
3-11-2. 画面仕様	23
3-11-3. 動作仕様	24
3-12. 電力トレンド画面	26
3-12-1. 概要	26
3-12-2. 画面仕様	26
3-12-3. 動作仕様	27
3-13. CSV ファイル保存設定画面	28
3-13-1. 概要	28
3-13-2. 画面仕様	28
3-13-3. 動作仕様	28
3-14. 設定画面	29
3-14-1. 概要	29
3-14-2. 画面仕様	29
3-14-3. 動作仕様	30
3-15. 設定シーン設定画面	31
3-15-1. 概要	31
3-15-2. 画面仕様	31
3-15-3. 動作仕様	32
3-16. 設定スケジュール設定画面	34
3-16-1. 概要	34
3-16-2. 画面仕様	34
3-16-3. 動作仕様	34
3-17. 設定スケジュール設定スケジュール実行画面	35
3-17-1. 概要	35
3-17-2. 画面仕様	35
3-17-3. 動作仕様	36
3-18. 設定スケジュール設定スケジュールパターン設定画面	37
3-18-1. 概要	37
3-18-2. 画面仕様	37
3-18-3. 動作仕様	38
3-19. 設定スケジュール設定一週間スケジュール設定画面	40
3-19-1. 概要	40
3-19-2. 画面仕様	40
3-19-3. 動作仕様	41
3-20. 設定スケジュール設定一年間スケジュール設定画面	42
3-20-1. 概要	42
3-20-2. 画面仕様	42
3-20-3. 動作仕様	43
3-21. 設定スケジュール設定スケジュール確認画面	44
3-21-1. 概要	44
3-21-2. 画面仕様	44
3-21-3. 動作仕様	44
3-22. 設定一運用設定画面	45
3-22-1. 概要	45
3-22-2. 画面仕様	45
3-22-3. 動作仕様	46
3-23. 設定データ管理画面	51
3-23-1. 概要	51
3-23-2. 画面仕様	51

3-23-3. 動作仕様	51
3-24. 設定－設定データー－一括送受信画面	52
3-24-1. 概要	52
3-24-2. 画面仕様	52
3-24-3. 動作仕様	53
3-25. 設定－設定データー設定コピー画面	54
3-25-1. 概要	54
3-25-2. 画面仕様	54
3-25-3. 動作仕様	55
3-26. 設定－設定データーファイル保存・読出画面	56
3-26-1. 概要	56
3-26-2. 画面仕様	56
3-26-3. 動作仕様	57
3-27. ワイヤレス設定	58
3-27-1. 概要	58
3-27-2. 画面仕様	58
3-27-3. 動作仕様	58
3-28. 設定－ネットワーク設定画面	59
3-28-1. 概要	59
3-28-2. 画面仕様	59
3-28-3. 動作仕様	59
3-29. 設定－名称変更画面	60
3-29-1. 概要	60
3-29-2. 画面仕様	60
3-29-3. 動作仕様	60
3-30. 設定－ソフトウェア設定画面	61
3-30-1. 概要	61
3-30-2. 画面仕様	61
3-30-3. 動作仕様	61

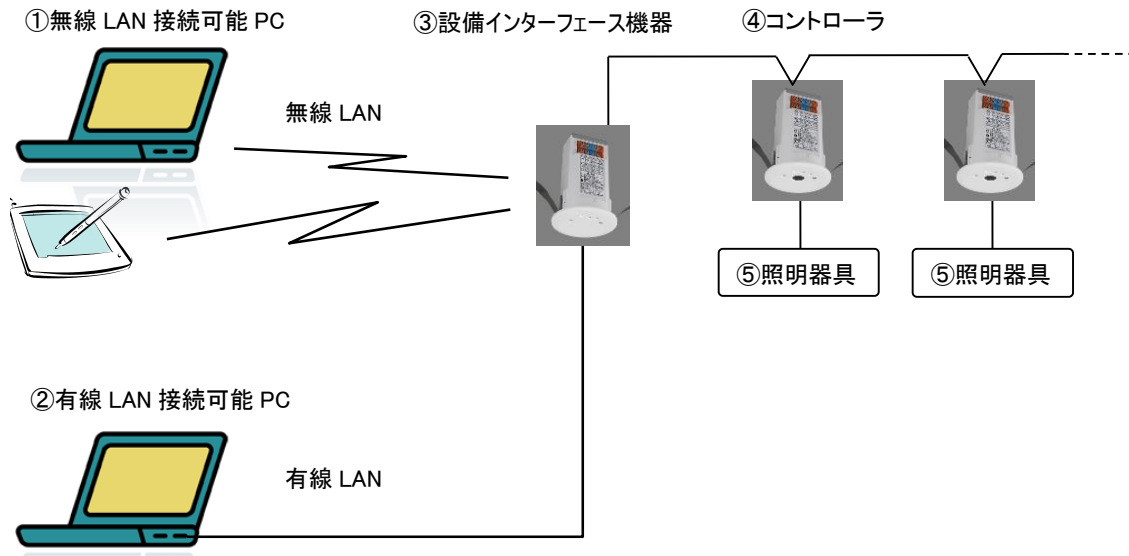
1. 概要

1-1. 概要

本書は MILCO.S システムの設備インターフェース機器経由で照明制御、電力の見える化、各種設定を行う照明制御アプリケーション (Windows 版)の仕様について示したユーザーズ・マニュアルです。

1-2. システム構成

以下にシステム構成図を示します。



No.	名称	機能	備考
①	無線 LAN 接続可能 Windows PC (Windows タブレット PC 含む。ただし、OS が Windows RT のタブレット PC には非対応)	設備インターフェース機器経由でコントローラへの照明制御要求や照明制御設定の送受信を行います。 設備インターフェース機器とは無線 LAN (IEEE 802.11b) で TCP プロトコルを用いてデータ送受信を行います。	IEEE 802.11b 規格対応の、無線 LAN 機能内蔵 PC、無線 LAN カード装着 PC、または、無線 LAN イーサネットコンバータに接続する Windows PC。 対応 OS は Windows 7、8、8.1(32bit/64 bit) ¹ 。Windows RT には対応していません。
②	有線 LAN 接続可能 PC	設備インターフェース機器経由でコントローラへの照明制御要求や照明制御設定の送受信を行います。 設備インターフェース機器とは有線 LAN (IEEE 802.3/802.3u) で TCP プロトコルを用いてデータ送受信を行います。	IEEE 802.3/802.3u 規格対応の、有線 LAN インターフェース付きの Windows PC。 対応 OS は Windows 7、8、8.1(32bit/64 bit) ¹ 。Windows RT には対応していません。

¹ Windows7 で本ソフトウェアを動作させるためには、**.NET Framework 4.5 以上がインストールされている必要があります**。Windows Update により、.NET Framework4.5 以上をインストールしてください。ネットワークが使用できない場合は、あらかじめ.NET Framework4.5 以上(4.5.1 や 4.5.2 など)のオフラインインストーラをマイクロソフト社の WEB ページから入手してインストールしてください。

Windows8、Windows8.1 ではデスクトップ画面から本ソフトウェアを使用してください。

また、Windows8、Windows8.1 でワイヤレスアダプターが省電力設定になっている場合は、無線 LAN 通信がうまくできないことがあります。その場合は、PC の電源オプションの設定から、詳細設定中の“ワイヤレスアダプターの設定”を選択し、“省電力モード”を最大パフォーマンスに変更してください。“ワイヤレスアダプターの設定”が無い場合は PC メーカーに問い合わせてください。

③	設備インターフェース機器	<p>MILCO.S のコントローラと通信線で接続し、①により電力の見える化および各種設定を行うことができる I/F 装置です。</p> <p>設備インターフェース機器自体がアクセスポイントとなるアクセスポイントモード、汎用無線 LAN アクセスポイントと無線 LAN 接続するインフラストラクチャモード、及び有線 LAN モードの切り替えが可能です。</p>	<p>1 つの MILCO.S システムで最大 5 台。</p> <p>設備インターフェース機器のアドレスは 11 ～ 15 のいずれかに指定する必要があります。出荷時のアドレスは 11 です。</p>
④	コントローラ	<p>照明制御の制御を行います。</p> <p>1 つのコントローラには回路が 2 系統あります。</p>	<p>1 つの MILCO.S システムで最大 10 台。</p> <p>コントローラのアドレスは 1 ～ 10 のいずれかに、他のコントローラと重複しないよう指定する必要があります。</p> <p>本ソフトウェアでコントローラを選択する際、選択肢の”コントローラn”はアドレスnを指定したコントローラを指します。</p> <p><u>出荷時のアドレスである 0 のままの状態では設備インターフェース機器と通信できないため、双方向赤外線リモコンを用いてアドレスを指定してください。</u></p>
⑤	照明器具	コントローラからの PWM 信号で調光制御される照明器具。	

2. インストール、起動と終了

2-1. ソフトウェアのインストール

本ソフトウェアはインストーラの実行ファイル MILCO.S_setup_ver***.exe(***はバージョン番号)を左ダブルクリックすることでインストールされます。ソフトウェアのバージョンアップの際には、前バージョンをアンインストールしてからインストーラを実行してください。

インストーラを起動するとインストールウィザードが表示されますので画面指示に従ってインストールしてください。途中で使用許諾事項の表示がありますので内容を確認してください。

インストール先のフォルダは Windows OS 標準のプログラムインストールフォルダ(「%ProgramFiles%」)の下に「MILIE¥MILCO.S」フォルダです。インストールウィザード中にインストール先フォルダを指定する画面がありますのでインストール先を変更することも可能です。

変更が必要な場合、インストール先フォルダの指定画面が表示されたら希望するインストール先フォルダを選択してください。

なお、Windows OS の UAC(User Account Control)機能が有効であり、かつ、Windows OS 標準のプログラムインストールフォルダの下にインストールした場合は、本ソフトウェアの設定ファイル(「app.setting」ファイル: 本ソフトウェアの各種設定とシーン名やスケジュール名などが保存されます。「controllerName.setting」ファイル: 本ソフトウェアで表示されるコントローラ名、グループ名が保存されます。)と、**電力トレンドデータを保存したファイル**(「trendData.sqlite」ファイル)は**ユーザごとに保存²されます**。

複数のユーザで共通して設定ファイルと電力トレンドデータ保存ファイルを使用したい場合は、インストール先フォルダを Windows OS 標準のプログラムインストールフォルダの下ではないフォルダに変更するか、セキュリティ面での問題が無いかを考慮の上で UAC 機能を無効にしてください。なお、他の PC にも本ソフトウェアをインストールする場合には、インストール後に設定ファイルと電力トレンドデータ保存ファイルを該当フォルダにコピーすることで設定と電力トレンドデータを引き継ぐことができます。

アンインストールは通常の Windows ソフトウェアのアンインストールと同様、Windows OS の「プログラムのアンインストールまたは変更」画面からおこないます。リストから「MILCO.S 設定アプリ」を見つけ、右クリックメニューから「アンインストール」を選択してください。設定ファイルと電力トレンドデータ保存ファイルはアンインストールをおこなっても消去されませんので、完全にアンインストールする場合は、手作業で本ソフトウェアのインストール先である「MILIE¥MILCO.S」フォルダごと消去してください。

2-2. ソフトウェアの起動

本ソフトウェアのインストーラがデスクトップに作成する「MILCO.S 設定アプリ」のアイコンを左ダブルクリックするか、スタートメニューから「MILIE」⇒「MILCO.S」の下に「MILCO.S 設定アプリ」を左クリックすることで本ソフトウェアが起動します。(注. Windows8, 8.1 ではデスクトップ画面に切り替えてから本ソフトウェアを起動してください。)

起動時には「MILCO.S」と書かれた起動時画面がデスクトップに数秒表示されます。インストール直後などでは起動に時間がかかる事がありますが、二重起動を防ぐようになっていますので何度もアイコンをダブルクリックしないようにしてください。



起動アイコン



起動時画面

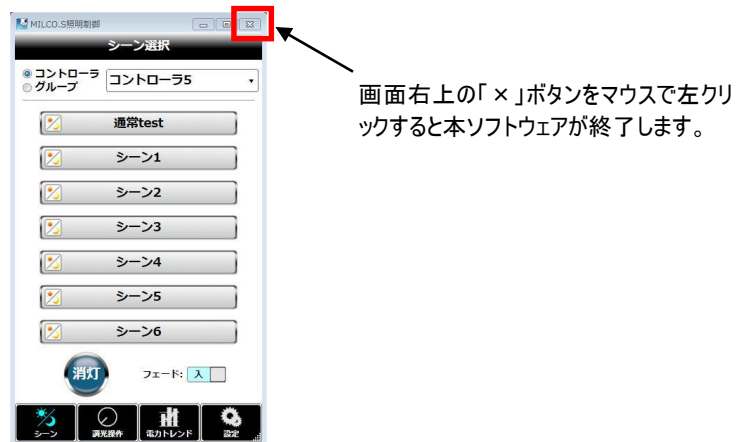
² UAC 機能が有効な場合は、ユーザごとに「%USERPROFILE%\AppData\Local\VirtualStore\Program Files\MILIE¥MILCO.S」フォルダに保存されます。

2-3. ソフトウェアの終了

本ソフトウェアの各画面の右上にある「×」ボタンを左クリックすることでソフトウェアが終了します。

「MILCO.S 照明制御ツールについて」画面と「Microsoft Public License(Ms-PL)」画面を除く、画面右上に「×」ボタンのあるどの画面からでもソフトウェアを終了することができます。

「MILCO.S 照明制御ツールについて」画面と「Microsoft Public License(Ms-PL)」画面では、画面右上の「×」ボタンを押すとその画面のみが閉じます。



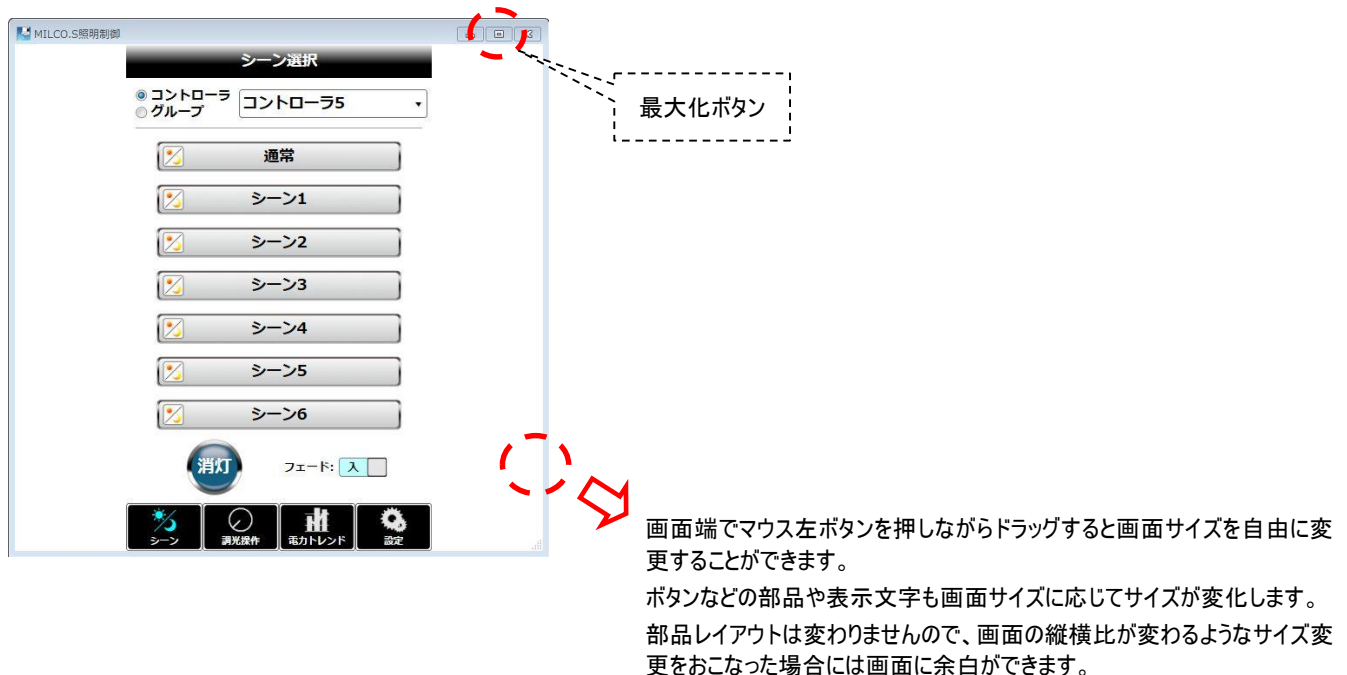
2-4. ソフトウェアの画面サイズ変更

本ソフトウェアは自由に画面のサイズを変更して使用することができます。画面内の部品レイアウトは変更されませんが、ボタンなどの部品と文字の大きさが画面サイズに応じて変化します。

部品や文字が小さくて操作しにくい場合は、画面サイズを大きくして操作してください。

本ソフトウェアの画面端にマウスを移動させ、マウスカーソルが矢印になったら左ボタンを押しながらドラッグすることで画面サイズが変わります。一般的な Windows ソフトウェアと同様、画面右上の「□」ボタンを押して最大化することもできます。

終了時の部品表示サイズは保存されます。次回起動した際には最後に変更した表示サイズになります³。終了時に最大化をしていた場合は次の起動時にも最大化されて表示されます。



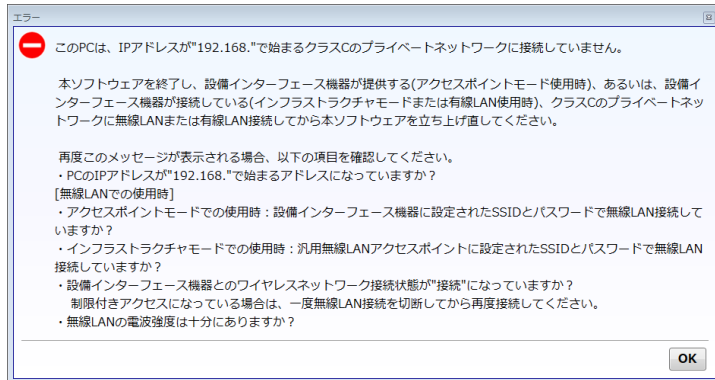
³ 画面の縦横比が変わるようなサイズ変更をおこない、画面に余白がある状態で終了した場合は、次回起動時には部品の表示サイズは保たれ、画面サイズは余白が無いよう縦横比が調整されます。(最大化表示の場合を除く)

2-5. 起動時の初期処理

本ソフトウェアが起動すると、スプラッシュ画面表示中に無線 LAN 接続、有線 LAN 接続の確認、および、設備インターフェース機器との通信確認をおこない、通信可能であれば設備インターフェース機器から通信線に接続しているコントローラの構成情報の取得を行います。

無線 LAN 接続または有線 LAN 接続ができなかった場合、以下のようなメッセージを表示します。

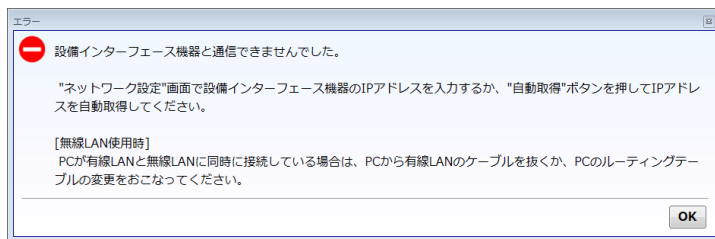
この場合は、本ソフトウェアを終了し、PC の無線 LAN 接続または有線 LAN 接続を確認してから本ソフトウェアを立ち上げ直してください。



無線 LAN または有線 LAN に接続しているが、設備インターフェース機器との通信ができなかった場合、以下のようなメッセージを表示します。

設備インターフェース機器が正常動作している場合は、IP アドレスが本ソフトウェアのデフォルト値(初回のみ)、あるいは、前回値と異なっているとの画面が表示されます。OK ボタンを押すと「ネットワーク設定」画面に移行するので「自動取得」ボタンを押して設備インターフェース機器の IP アドレスを取得してください。

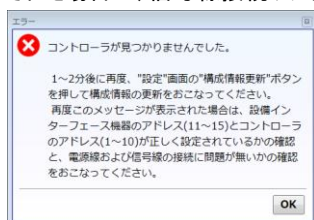
設備インターフェース機器が正常に動作していない場合や、有線 LAN と無線 LAN に同時に接続している場合⁴ にもこのメッセージが表示されます。設備インターフェース機器が正常動作していることを本体の LED で確認してから IP アドレスの自動取得をおこなってください。



設備インターフェース機器と正常に通信できたが、通信線に接続しているコントローラの構成情報を取得できなかった場合、以下のようなメッセージを表示します。

電力トレンドデータを他のソフトウェアが取得中の場合、信号線にコントローラが一つも接続していない場合、コントローラのアドレスが 1～10 のいずれかになっていない場合、コントローラのアドレスが他のコントローラのアドレスと重複している場合、信号線が正しく接続されていない場合、コントローラのアドレス変更直後でコントローラ間通信の構成変更中の場合、などにこのメッセージが表示されます。

コントローラ間通信の構成変更中である場合や、電力トレンドデータを他のソフトウェアが取得中の可能性がありますので、1～2 分後に「設定」画面の「構成情報更新」ボタンを押して通信線に接続しているコントローラの構成情報を再取得してください。再度同じメッセージが表示された場合は、信号線接続やアドレス設定に問題がないかを確認してください。



⁴ [無線 LAN 使用時]

有線 LAN 接続と無線 LAN 接続が同時に有効になっている場合、Windows OS の標準状態では優先接続である有線 LAN 通信アダプタでのみ通信がおこなわれるため設備インターフェース機器とは通信できません。

Windows OS の route コマンドを用いてルーティングテーブルを変更することで有線 LAN 通信と設備インターフェース機器との通信を併用することも可能ですが、PC の通信に影響を与える設定であり、また、ネットワーク管理によりルーティングテーブルが書き換わる場合があるため、ネットワーク管理者に相談してください。

3. 画面一覧

画面名	機能	設定対象
スプラッシュ画面	本ソフトウェアの起動時に表示します。	—
シーン選択画面	シーンの選択、消灯をおこないます。	コントローラ／グループ
調光操作画面	調光率変更・色温度変更(色温度制御時のみ)をおこないます。	
電力トレンド画面		—
日次	指定したコントローラの回路またはグループの日次電力トレンドをグラフで表示します。	回路／グループ
月次	指定したコントローラの回路またはグループの月次電力トレンドをグラフで表示します。	
年次	指定したコントローラの回路またはグループの年次電力トレンドをグラフで表示します。	
CSV ファイル保存設定画面	電力トレンドデータを CSV ファイルに保存します。 保存対象とする期間、コントローラを選択することができます。	コントローラ(全コントローラ対象も可)
設定		—
シーン設定画面	シーンごとの調光詳細設定をおこないます。	コントローラ／グループ
スケジュール設定画面		—
スケジュール実行	コントローラにスケジュールの実行を指示します。	—
スケジュール実行画面	現行スケジュール実行、特定日スケジュール実行、人感センサ連動、スケジュール停止、のいずれかをコントローラに指示します。	コントローラ
スケジュールパターン	スケジュールパターンを設定します。 時刻モードのスケジュールパターンでは時刻ごとのシーンを設定します。 人感センサ連動でスケジュールを実行する際に用いるタイマーモードのスケジュールパターンでは分・秒でシーンの実行時間を設定します。	
曜日スケジュール	曜日スケジュールを設定します。 月～日のそれぞれの曜日のスケジュールパターンを選択します。	
年間スケジュール	年間スケジュールを設定します。 カレンダーで指定した特定日のスケジュールパターンを選択します。	
スケジュール確認	スケジュール確認画面を表示します。	
ステップ実行	“ステップ実行”ボタンを押すたびにスケジュールパターンのステップを進めることで確認します。	コントローラ
時間短縮実行	スケジュールパターンが”時刻”モードの場合に、1 時間を 6 秒に短縮してスケジュールパターンを実行することで確認します。	
スケジュール確認停止	スケジュール確認を停止します。停止後は現在の調光率・色温度でのマニュアル運転に移行します。	
運用設定画面	調光出力モード、照度センサ感度、照度制御、人感センサ検知、接点機能、最大電力値、復電モード、調光信号、日時、アドレス・グループ、異常表示、その他の各カテゴリの運用設定をおこないます。	
設定データ管理画面		—
一括送受信	シーン設定、スケジュール設定、運用設定の一括送受信をおこないます	コントローラ(全コントローラ対象も可)
設定コピー	本ソフトウェア内の 1 つのコントローラに対して設定した内容を他のコントローラの設定にコピーします。	本ソフトウェア
ファイル保存・読出	本ソフトウェア内の設定内容をファイルに保存したり、ファイルから設定内容を本ソフトウェアに読出したりします。	
ワイヤレス設定	コントローラと照明器具間の無線通信で使用されるシステムIDの設定と設置値のモニタを行います。また、コントローラに内蔵された無線装置の無線情報を工場出荷に戻します。	

ネットワーク設定画面	本ソフトウェアの接続先設備インターフェース機器の IP アドレスの設定及び接続テストをおこないます。	本ソフトウェア
構成情報更新	コントローラのアドレスやグループを変更した場合に構成情報の更新をおこないます。	
名称変更	本ソフトウェアで表示されるコントローラ名、グループ名を変更することができます。	
ソフトウェア設定画面	本ソフトウェアで表示されるメッセージボックスやツールチップの文字の大きさを変更することができます。	

3-1. スプラッシュ画面

3-1-1. 概要

起動直後に表示される画面です。

起動時にはアニメーション表示中に通信確認や構成情報取得がおこなわれます。

正常に構成情報を取得できた場合には、“開始”ボタンが表示されます。

3-1-2. 画面仕様



図 3-1[スプラッシュ画面]

バージョン表示

3-1-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
初期表示	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備インターフェース機器と通信可能であり、構成情報を正常に取得できた場合、「開始」ボタンを表示します。 ・ 無線 LAN 接続に問題があった場合はエラーメッセージを表示し、「終了」ボタンを表示します。 ・ 設備インターフェース機器と正常に接続できなかった場合はエラーメッセージを表示し、「OK」ボタンを押すと「ネットワーク設定」画面に遷移します。 ・ 構成情報を正常に取得できなかった場合はエラーメッセージを表示し、「OK」ボタンを押すと「設定」画面に遷移します。 	
「開始」ボタンが表示されているときに「開始」ボタンを左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ シーン選択画面に遷移します。 	
「終了」ボタンが表示されているときに「終了」ボタンを左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 無線 LAN 接続に問題がある場合に「終了」ボタンが表示されます。 ・ 本ソフトウェアを終了します。 	画面右上の「×」ボタンを押しても本ソフトウェアを終了します。
「about」ボタンを左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「MILCO.S 照明制御ツールについて」画面を表示します。「MILCO.S 照明制御ツールについて」画面には著作権表示、本ソフトウェアに用いられているオープンソースのライブラリの情報、および、「Microsoft Public License(Ms-PL)」を表示するための「about Ms-PL」ボタンが表示されます。 ・ 「MILCO.S 照明制御ツールについて」画面は右上の「×」ボタンを押すことで閉じます。 	
「MILCO.S 照明制御ツールについて」画面の「about Ms-PL」ボタンを左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「Microsoft Public License(Ms-PL)」画面を表示します。本ソフトウェアで用いられているオープンソースのライブラリのライセンスである Microsoft Public License(Ms-PL)の内容が表示されます。 ・ 「Microsoft Public License(Ms-PL)」画面は右上の「×」ボタンを押すことで閉じます。 	

3-2. 【共通】対象選択部

3-2-1. 概要

設定対象を指定する必要がある設定画面では、対象選択部を用いて設定対象を選択します。

対象選択部は、設定対象を指定する必要がある設定画面の上部に表示されます。

ドロップダウンメニュー⁵になっていますので、対象選択部の上でマウス左クリックすると選択肢が表示されます。

コントローラ操作の場合はコントローラ番号を、グループ操作の場合はグループ番号を、回路操作の場合はコントローラ番号と回路番号を、選択します。

なお、本ソフトウェアでコントローラを選択する際、“コントローラn”はアドレスnを設定したコントローラを指します。

名称変更画面でコントローラ名、グループ名を変更した場合は、コントローラ、グループのドロップダウンメニューには変更後の名称が表示されます。







(注. 名称変更画面では同一名称を複数のコントローラ、グループに設定することも可能ですが、同じ名称を複数のコントローラ、グループに設定しても本ソフトウェアで表示される名称が変わるだけですので、別のコントローラ、グループとして扱われます。操作ミスを防ぐため、同一名称を複数のコントローラ、グループに設定することは避けてください。)

3-2-2. 画面仕様

図 3-2[対象選択部]

⁵ 本ソフトウェアの Ver.1.00 では上下の▲印部で選択を切り替えていましたが、Ver.1.01 ではドロップダウンメニューからの選択に変わりました。

3-2-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「コントローラ」ラジオボタン 「グループ」ラジオボタン 「回路」ラジオボタン	<ul style="list-style-type: none"> 設定対象を選択します。 画面によって選択対象が異なりますので、選択できないラジオボタンは表示されません。また、どのコントローラにもグループ設定がされていない場合は「グループ」ラジオボタンは表示されません。 	
コントローラ選択時	<ul style="list-style-type: none"> コントローラ番号、またはコントローラ名称(名称変更をおこなった場合)を選択します 	
コントローラ番号	<ul style="list-style-type: none"> ドロップダウンメニューでコントローラ番号を選択します。  名称変更画面で名称を変更した場合は  枠内をクリックすると名称変更後のコントローラ名称のドロップダウンリストが表示されますのでリスト内の候補から選択してください 	範囲: コントローラ 1～最大 10 ※有効なコントローラのみが選択対象になります。
グループ選択時	<ul style="list-style-type: none"> グループ番号、またはグループ名称(名称変更をおこなった場合)を選択します。 	
グループ番号	<ul style="list-style-type: none"> ドロップダウンメニューでグループ番号を選択します。  名称変更画面で名称を変更した場合は  枠内をクリックすると名称変更後のグループ名称のドロップダウンリストが表示されますのでリスト内の候補から選択してください 	範囲: グループ 1～最大 255 ※有効なグループのみが選択対象になります。
回路選択時	<ul style="list-style-type: none"> 電力トレンド画面でコントローラと回路をそれぞれ選択します。 	
コントローラ番号、回路番号	<ul style="list-style-type: none"> ドロップダウンメニューでコントローラ番号と回路番号をそれぞれ選択します。  名称変更画面でコントローラ名称を変更した場合はコントローラ側の  枠内をクリックすると名称変更後のコントローラ名称のドロップダウンリストが表示されますのでリスト内の候補から選択してください 	範囲: コントローラ 1～最大 10 回路 1～最大 2 ※有効なコントローラ番号のみが選択対象になります。

3-3. 【共通】送信・受信ボタン

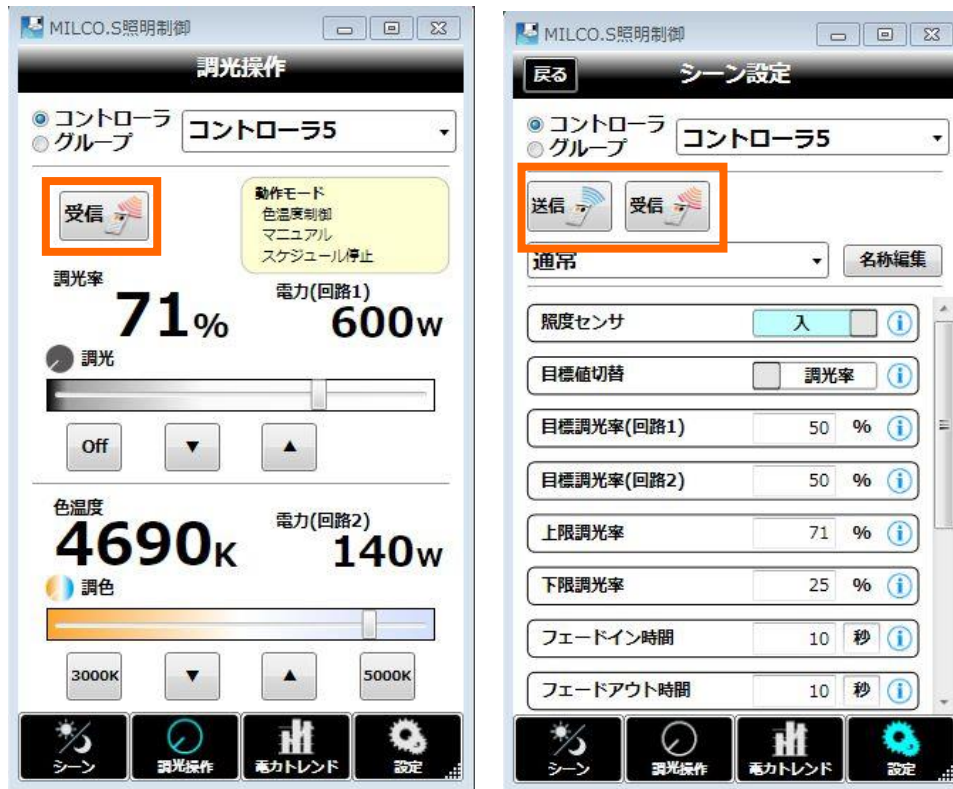
3-3-1. 概要

送信ボタンは、設備インターフェース機器経由で、現在選択している対象に画面で設定した値を送信するために用います。

受信ボタンは、設備インターフェース機器経由で、現在選択している対象の最新の情報を受信し画面に表示するために用います。

送信ボタン、受信ボタンは、それぞれ送信、受信が画面単位でおこなわれる機能のある画面でのみ表示されます。ただし、例えば調光操作画面のように、各ボタンの押下やスライダーの操作により直接送信がおこなわれる機能のみの画面では送信ボタンは表示されません。

3-3-2. 画面仕様



受信ボタン有効時

送信・受信ボタン有効時

図 3-3[送信・受信ボタン]

3-3-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「送信」ボタン左クリック	・ 設備インターフェース機器経由で、現在選択している対象に画面で設定した値を送信します。	
「受信」ボタン左クリック	・ 設備インターフェース機器経由で、現在選択している対象の最新情報を受信します。受信した値は画面に反映されます。	

3-4. 【共通】タブメニュー

3-4-1. 概要

タブメニューは、シーン選択画面、調光操作画面、電力トレンド画面、設定画面の間で画面を遷移させるために用います。現在表示中の画面のタブはアイコンが薄青色で表示されます。

設定画面のみ下位の階層の画面があり、下位階層の画面に遷移した後にタブメニューで他の画面に遷移し再度設定画面を選択した場合は前回表示していた下位階層の画面に遷移します。

3-4-2. 画面仕様



図 3-4[タブメニュー]

3-4-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「シーン」ボタン左クリック	・ シーン選択画面に遷移します。	
「調光操作」ボタン左クリック	・ 調光操作画面に遷移します。	
「電力トレンド」ボタン左クリック	・ 電力トレンド画面に遷移します。	
「設定」ボタン左クリック	・ 設定画面に遷移します。	

3-5. 【共通】時刻・時間選択部

3-5-1. 概要

時刻・時間選択部は、スケジュールパターン設定画面、運用設定画面の日時設定カテゴリで、時刻または時間を選択するために用います。

スケジュールパターン設定画面でスケジュールモードが「タイマー」の場合にのみ「分：秒」を選択し、それ以外では「時：分」を選択します。

本項では「時：分」を選択する場合を前提で説明します。スケジュールモードが「タイマー」で「分：秒」を選択する場合には「時」を「分」、「分」を「秒」にそれぞれ読み替えてください。

3-5-2. 画面仕様

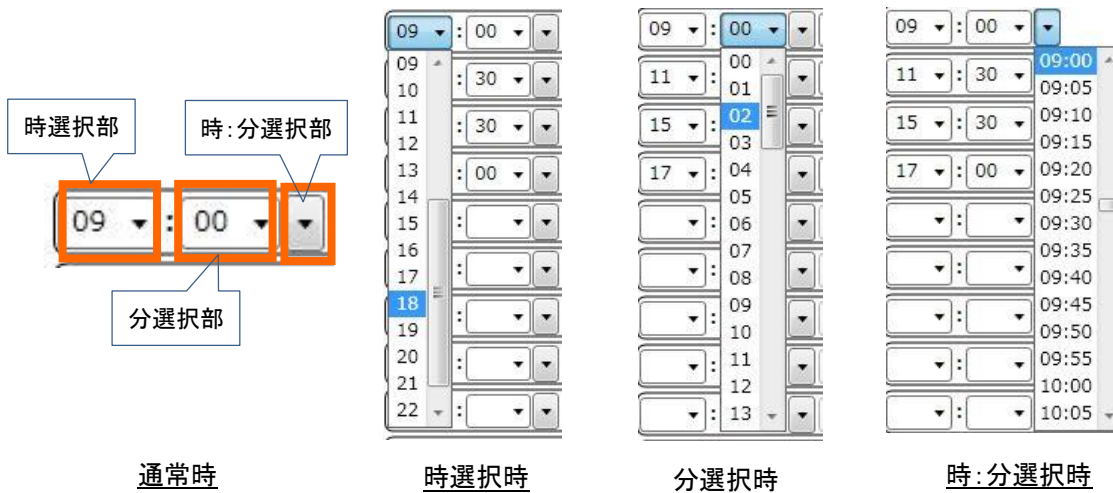


図 3-5[時刻・時間選択部]

3-5-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「時選択部」左クリック	<ul style="list-style-type: none"> “時”の候補がドロップダウンリストで表示されます。表示された“時”の中から左クリックで選択してください。 選択された“時”が「時選択部」に表示されます。 	
「分選択部」左クリック	<ul style="list-style-type: none"> “分”の候補がドロップダウンリストで表示されます。表示された“分”の中から左クリックで選択してください。 選択された“分”が「時選択部」に表示されます。 	
「時:分選択部」左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 5 分刻みの“時:分”の候補がドロップダウンリストで表示されます。表示された“時:分”の中から左クリックで選択してください。 選択された“時:分”の“時”と“分”がそれぞれ「時選択部」、「分選択部」に表示されます。 ドロップダウンリスト中で最初に選択されている“時:分”は「時選択部」、「分選択部」の選択に応じて変わります。「時:分選択部」は 5 分刻みのため、5 分単位でない“分”が選択されている場合は 5 分単位に切り捨てられます。 (例: “10”時“24”分が選択されている場合、“10:20”がドロップダウンリスト中で最初に選択された状態になります。) 「時:分選択部」では 5 分刻みの時刻しか選択できませんので、1 分刻みの時刻を選択する場合は「分選択部」を使用して調整してください。 	

3-6. 【共通】インフォメーション表示

3-6-1. 概要

インフォメーション表示機能は、各種設定画面で設定項目に関する入力可能な値の範囲情報や選択肢に関する情報を表示します。

マウス操作を用いる PC では、項目の右側にある青丸に囲まれた”i”部の上にマウスカーソルを移動させると情報がツールチップ表示されます。マウスカーソルをずらすとツールチップ表示が消えます。

タッチ操作を用いる PC では、項目の右側にある青丸に囲まれた”i”部の上でタッチすると情報がツールチップ表示されます。もう一度タッチするとツールチップ表示が消えます。

ツールチップ表示の文字の大きさは、ソフトウェア設定画面において、”メッセージ文字サイズ”項目の値をスライダーで変更することで変更することができます。文字サイズを大きくし過ぎると PC 画面内に収まらなくなりますので、その場合はメッセージ文字サイズの値を小さくしてください。

3-6-2. 画面仕様

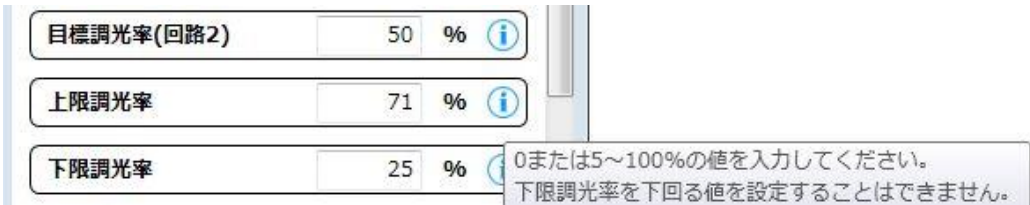


図 3-6[インフォメーション表示]

3-6-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
・青丸に囲まれた”i”部の上にマウス移動 (マウス操作の PC の場合) ・青丸に囲まれた”i”部の上でタッチ(タッチ 操作の PC の場合)	・ 該当項目に入力可能な値の範囲情報や選択肢に関する情報を表 示します。	

3-7. 【共通】エラー表示

3-7-1. 概要

エラー表示では、設定画面の各項目に設定できない値を入力欄に入力した場合に、入力欄を赤枠表示し、赤丸に囲まれた”i”を表示します。

マウス操作の場合は、赤丸に囲まれた”i”部にマウスを移動させると入力可能な値の範囲を表示します。

タッチ操作の場合には入力可能な値の範囲は表示されませんので、ソフトウェア表示機能で入力可能な値の範囲を確認してください。

設定できない値が入力され画面内に赤枠表示がある状態では、画面遷移、設定対象の選択、設定値の送信をおこなうことができなくなります。設定値の受信はおこなうことができます。

設定可能な値に修正することで赤枠表示が消え、画面遷移、設定対象の選択、設定値の送信が可能になります。

3-7-2. 画面仕様



図 3-7[エラー表示]

3-7-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
入力欄に該当項目に設定できない値を入力	<ul style="list-style-type: none"> 該入力欄が赤枠表示になり、枠内に赤丸に囲まれた”i”部が表示されます。 	
赤枠表示内にマウス移動(マウス操作時のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 該項目の入力可能な値の範囲を 5 秒間表示します。表示が消えた場合、再度マウスを移動させると 5 秒間表示します。 	
<ul style="list-style-type: none"> タブメニュー、”戻る”ボタン、対象選択部、”送信”ボタン、にマウス移動(マウス操作時) 	<ul style="list-style-type: none"> 画面内に赤枠表示がある場合はマウスを移動すると薄い表示になり操作が無効化されます。値を修正し赤枠がなくなってから再度マウスを移動すると濃い表示に戻り有効化されます。 	
<ul style="list-style-type: none"> タブメニュー、”戻る”ボタン、対象選択部、”送信”ボタン、でタッチ操作(タッチ操作時) 	<ul style="list-style-type: none"> 画面内に赤枠表示がある場合はタッチ操作をすると薄い表示になり操作が無効化されます。値を修正し赤枠がなくなってから再度タッチ操作をすると操作がおこなわれます(薄い表示のままでもタッチすると操作がおこなわれます)。 	

3-8. 【共通】印刷機能

3-8-1. 概要

スプラッシュ画面以外の画面ではタイトル部をマウス右クリックすると印刷機能が含まれるコンテキストメニューが表示されます。

コンテキストメニューから”印刷”を選ぶと Windows の標準の印刷画面が表示されます。印刷画面で印刷先(プリンタ、PDF ライター等)を選択し、”印刷(P)”ボタンを押すと本ソフトウェアの画面ハードコピーが印刷されます。

タイトル部のマウス右クリックで表示される印刷機能では、画面に表示されているままに印刷されますので、シーン設定画面、特定日一覧画面、名称変更画面でスクロール部の隠れている部分は印刷されません。スクロールバーを操作して印刷が必要な部分を表示させながら、それぞれ印刷してください。シーン設定画面では設定値入力部で、特定日一覧画面では特定日一覧表示部で、それぞれ右クリックすると表示されるコンテキストメニューから印刷をおこなうと、スクロールで隠れている部分も含めて印刷することもできます(画面全体ではなくその部分のみの印刷になります)。

運用設定画面では選択されて表示されているカテゴリのみが印刷されますのでカテゴリ選択部でカテゴリを変更して印刷が必要な部分を表示させ、それぞれのカテゴリで印刷してください。

3-8-2. 画面仕様

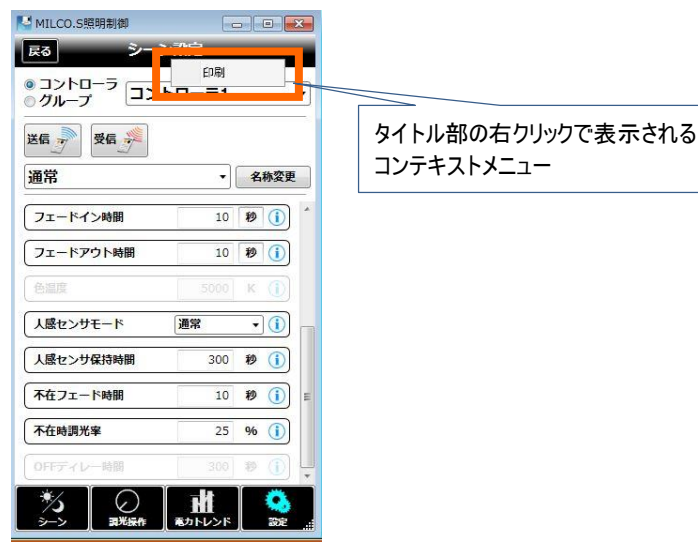


図 3-8[タイトル部のコンテキストメニュー表示]

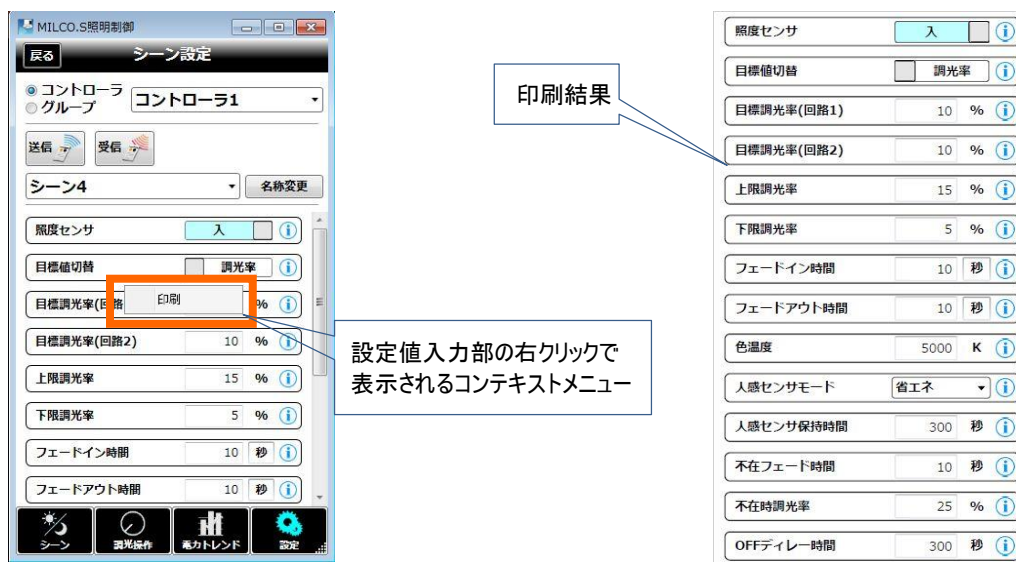


図 3-9[シーン画面の設定値入力部のコンテキストメニュー表示と印刷結果例]

3-8-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
タイトル部でマウス右クリック	<ul style="list-style-type: none"> 印刷が可能な画面でタイトル部を右クリックすると”印刷”が含まれるコンテキストメニューが表示されます。 印刷”を選択すると Windows の標準の印刷画面が表示されますので、印刷先プリンタを選んで”印刷(P)”ボタンを押すと画面のハードコピーが印刷されます。印刷先が PDF ライターや Microsoft XPS Document Writer の場合はツールに対応したファイルが作成されます。 	
シーン設定画面の設定値入力部でマウス右クリック	<ul style="list-style-type: none"> ”印刷”が含まれるコンテキストメニューが表示されます。 設定値入力部のみがスクロールで隠れている部分も含めて印刷対象になります。 	スクロールする設定値入力部内のどこで右クリックしてもコンテキストメニューが表示されます。
特定日一覧画面の特定日表示部でマウス右クリック	<ul style="list-style-type: none"> ”印刷”が含まれるコンテキストメニューが表示されます。 特定日表示部のみがスクロールで隠れている部分も含めて印刷対象になります。 	スクロールする特定日表示部内のどこで右クリックしてもコンテキストメニューが表示されます。

3-9. 【共通】タッチパネル、タブレット PC でのタッチ操作

3-9-1. 概要

タッチパネル、タブレット PC などのタッチ操作対応端末では、タッチ操作(ペンタッチ含む)を用いて本ソフトウェアを使用する事ができます。
マウス操作とタッチ操作とは表 3-1 に示す点で操作方法に違いがあります。

表 3-1 マウス操作とタッチ操作の操作方法の違い

	マウス操作	タッチ操作
左クリック操作	<ul style="list-style-type: none"> マウスの左ボタンをクリックする。 	<ul style="list-style-type: none"> 画面をタップ⁶する。
右クリック操作 (年間スケジュール画面で日付選択後にスケジュールを選択する画面を表示する際、および、各画面で印刷機能を使用する際に使用)	<ul style="list-style-type: none"> マウスの右ボタンをクリックする。 	<ul style="list-style-type: none"> 画面をロングタップ(長押し)⁷する。 (注. 端末のタッチパネルの設定で、“右クリック設定”を初期値の“ロングタップ”から他の動作に変更している場合は、変更した動作での操作をおこなってください。)
スクロール操作 (スクロールバーが表示されている画面で項目をスクロールする際に使用)	<ul style="list-style-type: none"> スクロールバーのつまみの上で左クリックしながらマウスを動かす。 項目画面内でマウスのホイールを回す。 	<ul style="list-style-type: none"> スクロールバーのつまみの上でタップしながらスライドさせる。 項目画面内をタッチしたままスライドさせる。
インフォメーション表示	<ul style="list-style-type: none"> 項目の右側にある青丸に囲まれた“i”部の上にマウスカーソルを動かすと情報が表示される。 青丸に囲まれた“i”部からマウスカーソルを別の場所に動かすと情報が表示されなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 項目の右側にある青丸に囲まれた“i”部の上でタップすると情報が表示される。 情報が表示された状態で青丸に囲まれた“i”部の上や画面内の空白部で再度タップすると情報が表示されなくなる。 画面の遷移やスクロール操作などがあった場合、情報が表示されなくなる。 情報が表示された状態で他の項目の青丸に囲まれた“i”部の上でタッチすると、前の情報表示は消え、新たにタップした項目の情報が表示される。
エラー表示	<ul style="list-style-type: none"> 赤枠表示内にマウス移動をすると入力可能な値の範囲が表示される。 画面内に赤枠表示がある場合は、タブメニュー、“戻る”ボタン、対象選択部、“送信”ボタン、にマウスを移動すると薄い表示になり操作が無効化される。値を修正し赤枠がなくなつてから再度マウスを移動すると濃い表示に戻り有効化される。 	<ul style="list-style-type: none"> エラー表示では入力可能な値の範囲は表示されない。インフォメーション表示機能で入力可能な値の範囲を確認する。 画面内に赤枠表示がある場合は、タブメニュー、“戻る”ボタン、対象選択部、“送信”ボタン、でタッチ操作をすると薄い表示になり操作が無効化される。値を修正し赤枠がなくなつてから再度タッチ操作をすると操作がおこなわれる(薄い表示のままでも操作可能)。
テキストボックスへの値入力	<ul style="list-style-type: none"> 設定値を入力するテキストボックスをクリックし、キーボードを用いて値を入力する。 	<ul style="list-style-type: none"> 設定値を入力するテキストボックスをクリックするとキーパッド(図 3-10 参照)が表示されるのでキーパッドを用いて値を入力する。キーボード(ソフトウェアキーボード含む)を用いて値を入力することも可。

⁶ 画面にタッチし、すぐ離す動作。

⁷ 画面にタッチし、しばらくタッチしたままにしてから離す動作。

3-9-2. キーパッド画面仕様

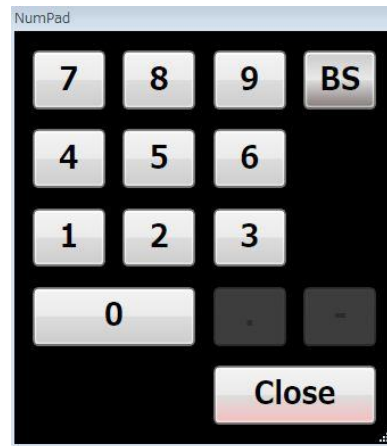


図 3-10[キーパッド画面]

3-9-3. キーパッド動作仕様

項目	動作説明	備考
数字ボタンをタッチ	<ul style="list-style-type: none"> テキストボックスのカーソル(点滅する縦線)位置にタッチした数字が入力されます。 	
“.”ボタンをタッチ (小数点を入力しないテキストボックスから表示した場合は薄い表示になりタッチできません)	<ul style="list-style-type: none"> テキストボックスのカーソル(点滅する縦線)位置に小数点が入力されます。 	
“-”ボタンをタッチ (負の値を入力しないテキストボックスから表示した場合は薄い表示になりタッチできません)	<ul style="list-style-type: none"> テキストボックスの値の先頭に“-”が入力されます。 “-”を消したい場合は“BS”ボタンを使用してください。 	
“BS”ボタンをタッチ	<ul style="list-style-type: none"> テキストボックスのカーソル(点滅する縦線)位置の前の文字を一文字消去します。 	
“Close”ボタンをタッチ	<ul style="list-style-type: none"> キーパッド画面を閉じます。 	
キーパッド画面端をドラッグ	<ul style="list-style-type: none"> キーパッド画面の大きさを変えることができます。 変更後の大きさは保存されます。次にキーパッド画面を表示した際には前回の大きさになります。 	

3-10. シーン選択画面

3-10-1. 概要

コントローラまたはグループ単位で、通常／シーン 1～6 の選択、または消灯操作をおこないます。⁸

3-10-2. 画面仕様

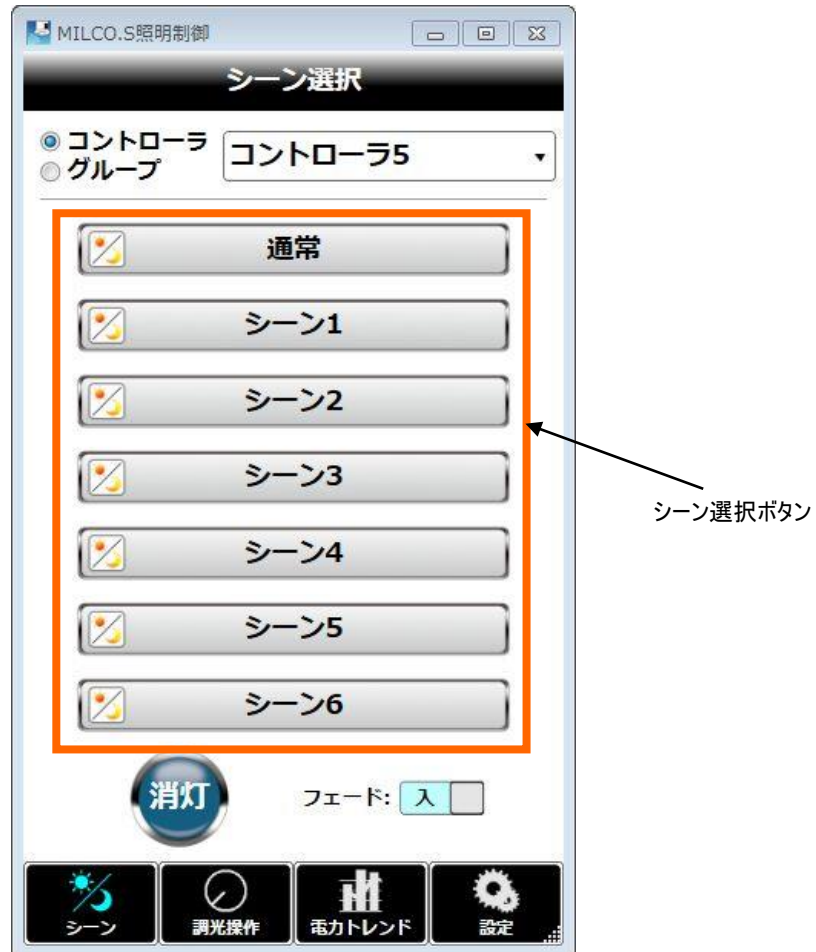


図 3-11[シーン選択画面]

⁸ 本ソフトウェアの Ver.1.0.0 にあった”自動”ボタンは無くなりました。Ver.1.10 では「通常の名称」ボタンを押すと同等の操作になります。

3-10-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
対象選択部	<ul style="list-style-type: none"> 対象選択部の操作は 3-2 項を参照してください。 	
シーン選択ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 設定対象のコントローラまたはグループに対して表示されているシーン(“通常”含む)での照明制御を指示します。 シーン設定画面で名称を変更している場合は、ボタンには変更後の名称が表示されます。 	
「消灯」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 設定対象のコントローラまたはグループに対して消灯を指示します。 	実行中のシーンは解除されます。
フェード:「入」/「切」トグルボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> シーン実行時または消灯実行時にフェード処理をおこなうかどうかを指定します。 「入」と表示されている場合はフェード処理あり、「切」と表示されている場合はフェード処理無しになります。 トグルボタンになっているので、「入」時に左クリックすると「切」に、「切」時に左クリックすると「入」に変わります。 	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> 画面を切り替えます。 タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。 	

3-11. 調光操作画面

3-11-1. 概要

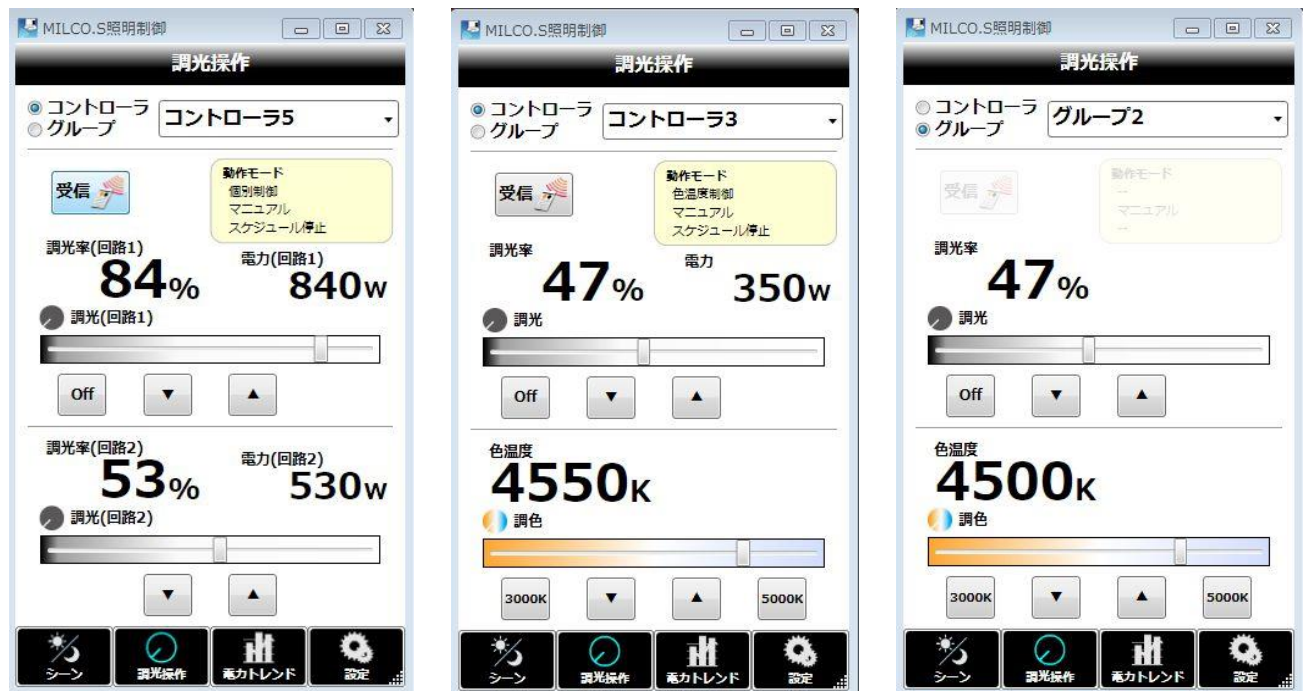
コントローラまたはグループ単位で調光(消灯含む)／調色の制御を行います⁹。

対象がコントローラの場合、初期状態では、回路 1、回路 2 の調光操作部が表示されており、調色操作部は表示されません。

調色操作部を表示させたい場合は、運用設定画面で“調光出力モード設定”カテゴリを選択し、調光出力モード欄から“色温度制御”を選択してから本画面に戻ってください。本画面で“受信”ボタンを押し、コントローラの調光出力モードが色可変制御になっている場合にも調色操作部が表示されます。

対象がグループの場合は常に調色操作部が表示されます。ただし、対象グループに含まれているコントローラの調光出力モードが“色温度制御”でない場合は、操作をおこなっても各コントローラの照明制御に影響を与えません。

3-11-2. 画面仕様



調光出力モードが色温度制御以外の
コントローラが対象の場合

調光出力モードが色温度制御の
コントローラが対象の場合

グループが対象の場合

図 3-12[調光操作画面]

⁹ 本ソフトウェアの Ver.1.00 では回路を選択をしていましたが、本バージョンでは回路 1、回路 2 の調光を 1 画面でおこなうため、コントローラの選択になりました。

3-11-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
対象選択部	<ul style="list-style-type: none"> 対象選択部の操作は 3-2 項を参照してください。 	
「受信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 現在選択している対象コントローラの最新情報を取得します。取得した値は画面に反映されます。 受信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。 	<ul style="list-style-type: none"> グループからは最新情報を取得できません。 グループ指定の場合、受信ボタンは薄い表示になり操作できません。
調光率	<ul style="list-style-type: none"> 取得した現在の調光率(%)を表示します。回路 1、回路 2 を個別に調整できる場合は、「調光率(回路 1)」、「調光率(回路 2)」とそれぞれ表示されます。 調光スライダードラッグ時、または、▲/▼ボタン操作時には送信する調光率が表示されます。 初期表示は“—%”です。 	
電力	<ul style="list-style-type: none"> 取得した現在の電力(W)を表示します。回路 1、回路 2 を個別に調整できる場合は、「電力(回路 1)」、「電力(回路 2)」でそれぞれ表示されます。調光出力モードが色温度制御に設定されたコントローラでは回路 1、回路 2 の電力の合計値が“電力”で表示されます。 初期表示は“—W”です。 調光スライダードラッグ時、または、▲/▼ボタン操作時には受信するまで“—W”の表示に戻ります。 	グループ指定の場合、電力部は非表示になります。
動作モード	<ul style="list-style-type: none"> 取得した現在実行中の動作モードを表示します。 <div data-bbox="564 994 836 1115" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> 以下の情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 調光出力モード(個別制御 色温度制御 バランス制御 昼光センサ制御) (2) 通常 シーン 1～シーン 6 マニュアル (3) スケジュール停止 スケジュール実行 人感センサ連動実行 初期表示は“—”です。 	グループ指定の場合、動作モード部は薄い表示になります。
調光		
スライダードラッグ	<ul style="list-style-type: none"> 設定対象のコントローラまたはグループに、スライダーのバーを離れた時の調光率の値を送信します。回路 1、回路 2 を個別に調整できる場合は、「調光 (回路 1)」、「調光(回路 2)」とそれぞれ表示されます。 調光率を取得した場合、取得した調光率の位置に移動します。 スライダー部をクリックした場合、その位置にバーが移動し、移動後の調光率値を送信します。 	範囲: 0 または 5～100% 初期値: 50%(中央) スライド操作途中の調光率は送信されないため、調光の連続可変はできません。
「▲」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ボタンクリックで上限値まで 1%単位で調光率を増やします。 設定対象のコントローラまたはグループに、ボタンから離れた時の調光率の値を送信します。 	押している間の調光率は送信されないため、調光の連続可変はできません。
「▼」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ボタンクリックで下限値まで 1%単位で調光率を減らします。 設定対象のコントローラまたはグループに、ボタンから離れた時の調光率の値を送信します。 	押している間の調光率は送信されないため、調光の連続可変はできません。
「Off」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 設定対象のコントローラまたはグループに消灯信号を送信します。 	

	・ 調光率、電力の表示値は 0 になります。	
調色（色温度制御対応の照明の制御時のみ有効）		対象がコントローラの場合、コントローラの調光出力モードが”色温度制御”に設定されている場合にのみ表示されます。
スライダードラッグ	<ul style="list-style-type: none"> 設定対象のコントローラまたはグループに、スライダーのバーを離れた時の調色値を送信します。 調色値を取得した場合、取得した調色値の位置に移動します。 現在の色温度がスライダー上に表示されます。 スライダー部をクリックした場合、その位置にバーが移動し、調色値を送信します。 	<p>範囲： 電球色 LED 色温度 ～ 昼白色 LED 色温度</p> <p>初期値： 4000K(中央)</p> <p>スライド操作途中の調色値は送信されないため、調色の連続可変はできません。</p>
「電球色 LED 色温度」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ボタンに電球色 LED 色温度の設定値が表示されます。 設定対象のコントローラまたはグループに、電球色 LED 色温度の調色値を送信します。 	対象がコントローラの場合、“受信”を行うことで電球色 LED 色温度の設定値が表示されます。対象がグループの場合はデフォルトの電球色 LED 色温度になります。
「▲」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ボタンクリックで上限値まで 10(長押しは 100)単位で調色値を増やします。 設定対象のコントローラまたはグループに、ボタンから離れた時の調色値を送信します 	押している間の調色値は送信されないため、調光の連続可変はできません。
「▼」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ボタンクリックで上限値まで 10(長押しは 100)単位で調色値を減らします。 設定対象のコントローラまたはグループに、ボタンから離れた時の調色値を送信します 	押している間の調色値は送信されないため、調光の連続可変はできません。
「昼白色 LED 色温度」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ボタンに昼白色 LED 色温度の設定値が表示されます 設定対象のコントローラまたはグループに、昼白色 LED 色温度の調色値を送信します。 	対象がコントローラの場合、“受信”を行うことで昼白色 LED 色温度の設定値が表示されます。対象がグループの場合はデフォルトの昼白色 LED 色温度になります。
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> 画面を切り替えます。 タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。 	

3-12. 電力トレンド画面

3-12-1. 概要

電力トレンドをグラフ表示します。日次、月次、年次の3種類の範囲でグラフを表示できます。

相対比較、絶対比較のいずれかで他の日(日次表示時)、月(月次表示時)、年(年次表示時)の電力トレンドとの比較ができます。

3-12-2. 画面仕様



日次表示

月次表示

年次表示

図 3-13[電力トレンド画面]

3-12-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
対象選択部	・ 対象選択部の操作は 3-2 項を参照してください。	
「日」ボタン左クリック	・ 日次の電力トレンドを表示します。	初期状態は日次表示です。
「月」ボタン左クリック	・ 月次の電力トレンドを表示します。	
「年」ボタン左クリック	・ 年次の電力トレンドを表示します。	
「全受信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備インターフェース機器に格納されている全コントローラの全回路の電力トレンドデータ(最大 32 日分)を取得し、取得した値を DB に格納します。格納後には対象選択部で選択した対象の電力トレンドデータのグラフ表示をします。 ・ 受信中は”受信...”の表示がされます。受信後、DB への格納中には”格納中...”の表示がされます。 ・ 全受信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。 	
「CSV 保存」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保存されている電力トレンドデータを CSV ファイル形式で保存する際に押します。 ・ ボタンを押すことで CSV ファイル保存設定画面が表示されます。 	
左向き▲ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在表示中のグラフより 1 日/月/年後のグラフを表示します。操作日より未来のグラフは表示されません。 日次表示時は 1 日後のグラフを表示 月次表示時は 1 月後のグラフを表示 年次表示時は 1 年後のグラフを表示 	
右向き▲ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在表示中のグラフより 1 日/月/年前のグラフを表示します。 日次表示時は 1 日前のグラフを表示 月次表示時は 1 月前のグラフを表示 年次表示時は 1 年後前のグラフを表示 	
赤文字表示されている、日(日次表示時)/月(月次表示時)/年(年次表示時)の上で左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラフ表示をおこなう、日(日次表示時)/月(月次表示時)/年(年次表示時)を選択する画面が表示されます。 ・ 日(日次表示時)/月(月次表示時)/年(年次表示時)を選択するとグラフ表示の対象が選択された日(日次表示時)/月(月次表示時)/年(年次表示時)に即座に変化します。 ・ 「閉じる」ボタンを押すと選択画面が閉じます。 	
「比較」チェックボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「比較」チェックボタンにチェックが入っている場合、他の日(日次表示時)、月(月次表示時)、年(年次表示時)の電力トレンドの電力トレンドとの比較表示をおこないます。 ・ 比較対象の電力の合計との比較をおこない、変化量の%表示をおこないます。変化が±5%以内の場合は横向きの矢印、+5%以上の場合は斜め上向きの矢印、-5%以上の場合は斜め下向きの矢印を表示します。 	
「比較条件設定」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 比較条件設定画面が表示されます。 ・ 比較対象を、相対比較にするか絶対比較にするかを選択できます。 ・ 相対比較: ○ 日前/後(日次表示)、○ 月前/後(月次表示)、○ 年前/後(年次表示)と比較します。▲ ボタンを押すと相対比較対象を未来方向にずらし、▼ 変更ボタンを押すと相対比較対象を過去方向にずらします。 ・ 絶対比較: 比較する日/月/年を指定します。 ・ “OK”ボタンを押すと比較条件設定画面を閉じ、「比較」チェックボタンにチェックが入っている場合は比較対象日/月/年のグラフを表示します。 ・ “キャンセル”ボタンを押すと比較条件設定画面を閉じ、前の状態に戻ります。 	
「折れ線」ラジオボタン左クリック 「棒」ラジオボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラフの表示を、折れ線グラフ、棒グラフ、から選択できます。 ・ 折れ線グラフの場合はグラフ上の●に、棒グラフ表示の場合は棒上に、マウスカーソルを移動させると横軸と縦軸の値を見ることができます(比較対象のグラフ表示では縦軸値のみ)。 ・ 縦軸の単位はグラフの左側に表示されている電力の単位です。 	比較対象のグラフ表示は折れ線のみです。
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。 	

3-13. CSV ファイル保存設定画面

3-13-1. 概要

照明制御ソフトウェアが動作する PC の電力トレンドデータ保存ファイルに取り込み済みの電力トレンドデータを CSV ファイルに保存します。保存する CSV ファイル名の接頭辞¹⁰、保存先フォルダ、保存対象期間、保存対象コントローラを指定することができます。

3-13-2. 画面仕様

図 3-14[CSV ファイル保存設定画面]

3-13-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
CSV ファイル接頭辞	<ul style="list-style-type: none"> CSV ファイルの接頭辞を指定します。“保存”ボタンを押すと、CSV ファイルは日付ごとに、“CSV ファイル接頭辞_YYYYMMDD.csv”のファイル名で保存されます。 	
CSV ファイル保存先フォルダ	<ul style="list-style-type: none"> CSV ファイルの保存先フォルダを指定します。 	保存先フォルダの絶対パスの文字列長が長過ぎると保存できないことがあります。
保存対象期間	<ul style="list-style-type: none"> 保存対象とする日の最初と最後を指定します。最初の日付にはデフォルトでは電力トレンドデータ保存ファイルに保存されている最古の電力トレンドデータ日付が表示されます。 	
保存対象コントローラ	<ul style="list-style-type: none"> 保存対象とするコントローラをチェックボタンで指定します。回路の指定はできません。 “全て”のチェックボタンが非選択の状態では“全て”のチェックボタンを選択すると、全てのコントローラ番号のチェックボタンにチェックが付きます。 	
「保存」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 保存されている電力トレンドデータを本画面で設定された内容に基づき CSV ファイル形式で保存します。 	
「戻る」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 電力トレンド画面に戻ります。 	

¹⁰ CSV ファイルは日付ごとに、“CSV ファイル接頭辞_YYYYMMDD.csv”のファイル名で保存されます。

3-14. 設定画面

3-14-1. 概要

シーン設定、スケジュール設定、運用設定、設定データ、ネットワーク設定、構成情報更新、名称変更、ソフトウェア設定の 8 つのメニューがあり、いずれかを左クリックすると対応する設定画面に遷移します。

3-14-2. 画面仕様



図 3-15[設定画面]

3-14-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「シーン設定」ボタン左クリック	・ シーン設定画面に遷移します。	
「スケジュール設定」ボタン左クリック	・ スケジュール設定画面に遷移します。	
「運用設定」ボタン左クリック	・ 運用設定画面に遷移します。	
「ワイヤレス設定」ボタン左クリック	・ ワイヤレス設定画面に遷移します。	
「設定データ管理」ボタン左クリック	・ 設定データ管理画面に遷移します。	
「ネットワーク設定」ボタン左クリック	・ ネットワーク設定画面に遷移します。	
「構成情報更新」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ システムに接続するコントローラ情報、グループ情報を更新します。 この項目では画面遷移はありません。 ・ 左クリックすると構成情報を更新するかメッセージが表示されます。 [はい]: 更新を行う。 [いいえ]: 更新を中止する。 のいずれかを選択してください。 	
「名称変更」ボタン左クリック	・ 本ソフトウェアでのコントローラ、グループの表示名称の変更が可能な、名称変更画面に遷移します。	
「ソフトウェア設定」ボタン左クリック	・ ソフトウェア設定画面に遷移します。	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。 	

3-15. 設定—シーン設定画面

3-15-1. 概要

対象範囲で設定したコントローラまたはグループに対して、通常、および、シーン1～6の照明制御値の設定をおこないます。

回路1、回路2は、目標照度／目標調光率以外の設定値は同一となります。目標照度と目標調光率は同時に設定できません¹¹⁾ので、“目標値切替欄”で“目標照度”、“目標調光率”のどちらを用いて設定するかを選択してください。

3-15-2. 画面仕様



図 3-16[シーン設定画面]

¹¹⁾ “目標照度、目標調光率のいずれかの値を送信した場合、連動してコントローラ内のもう一方の設定値も変更されます。例えば、調光率100%時の照度が1000lxの場合、コントローラの目標調光率を70%に設定すると目標照度も連動して700lxに変更されます。調光率100%時の照度設定値は運用設定画面の“照度センサ感度設定”カテゴリにある“初期照度”欄で確認できます。

3-15-3. 動作仕様

(“通常”もシーンの一つですので下表中では区別せず表現します。)

項目	動作説明	備考
対象選択部	・ 対象選択部の操作は 3-2 項を参照してください。	
「戻る」ボタン左クリック	・ 設定メニュー一覧に戻る。	
「受信」ボタン左クリック時	・ 現在選択している対象コントローラの最新情報を取得します。取得した値は画面に反映されます。 ・ 受信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。	対象がグループの場合は薄い表示になり操作できません。
「送信」ボタン左クリック	・ 現在選択している対象に画面表示値を設定します。 ・ 送信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。	
「コントローラタイプ」ドロップダウンリスト	・ 枠内をクリックするとコントローラタイプのドロップダウンリストが表示されますのでリスト内の候補から対象のタイプ選択してください。	タイプが分からない場合は「タイプ不明」としてください。
「シーン名称」ドロップダウンリスト	・ 枠内をクリックするとシーン名称のドロップダウンリストが表示されますのでリスト内の候補から対象のシーンを選択してください。 ・ 名称部の右側にある「名称変更」ボタンを左クリックすることで選択中のシーンの名称を変更することができます。「変更完了」ボタンを押すとシーン名称選択に戻ります。最大表示幅 ¹² を超える名称に変更した場合は、最大表示幅を超えた文字は切り捨てられます。	名称変更時に名称重複や空文字列の確認はおこなわれません。
シーン		
照度センサ	・ 照度センサを用いるかどうかを指定します。照度センサの無いコントローラでは“入”に設定しても“切”に設定したのと同じ動作になります。 ・ 初期表示は“入”です。	
目標値切替	・ 調光時の目標値を調光率とするか照度とするかを選択します。 ・ 初期表示は“調光率”です。 ・ 照度センサを“切”にした場合はこの欄の選択に関わらず、調光率が目標値となります。	
目標照度／目標調光率		
目標調光率(回路 1) 目標調光率(回路 2)	・ 対象がコントローラの場合、回路 1 と回路 2 のそれぞれの目標調光率を設定します。	
目標調光率	・ 対象がグループの場合、回路 1、回路 2 に同じ目標調光率を設定します。	
目標照度	・ 目標照度を設定します。	
上限調光率	・ 数値を入力します。	
下限調光率	・ 下限調光率が上限調光率を上回る設定はできません。	
フェードイン時間	・ 単位を秒にするか分にするかを選択できます。	
フェードアウト時間	・ 単位が秒の場合、0～180 秒の間の 1 秒刻みの値、または、180～4680 秒の間の 60 秒刻みの値を入力してください。 ・ 単位が分の場合、0～78 分の間の値を入力してください。	
色温度	・ 対象がコントローラの場合は、対象コントローラの調光出力モードが“色温度制御”に設定されている場合にのみ変更可能となります。対象がグループの場合は常に変更可能です。 ・ 運用設定画面で対象コントローラの白色 LED 色温度、電球色 LED 色温度を変更することができますが、本項目は 3000～5000K の範囲の値になります。	
「人感センサモード」ドロップダウンリスト	・ ドロップダウンリストから人感センサのモードを選択してください。 ・ 初期表示は“切”です。 ・ 人感センサモードが「切」の場合、「不在時調光率」、「人感センサ保	

¹² 全て全角の場合は最大 12 文字。半角では使用する文字の幅によって最大文字数が変わります。

	<p>持時間」、「不在フェード時間」、「OFF ディレイ時間」は薄い表示になり、設定不要になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人感センサモードが「通常」、「残置」の場合に「OFF ディレイ時間」は薄い表示になり、設定不要になります。 	
不在時調光率	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数値を入力します。 	
人感センサ保持時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人感センサモードが「切」の場合、設定不要になります。 	
不在フェード時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定不要の場合も表示値は送受信されます。 	
OFF ディレイ時間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 値を入力します。 ・ 人感センサモードが「省エネ」の場合にのみ設定要になります。 ・ 設定不要の場合も表示値は送受信されます。 	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。 	

3-16. 設定－スケジュール設定画面

3-16-1. 概要

スケジュール実行、スケジュールパターン、週間スケジュール、年間スケジュール、スケジュール確認の 4 つのメニューがあり、いずれかをタッチすると対応する設定画面に遷移します。

3-16-2. 画面仕様



図 3-17[スケジュール設定画面]

3-16-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	・ 設定メニュー一覧に戻ります。	
「スケジュール実行」ボタン左クリック	・ スケジュール実行画面に遷移します。	
「スケジュールパターン」ボタン左クリック	・ スケジュールパターン画面に遷移します。	
「週間スケジュール」ボタン左クリック	・ 週間スケジュール設定画面に遷移します。	
「年間スケジュール」ボタン左クリック	・ 年間スケジュール設定画面に遷移します。	
「スケジュール確認」ボタン左クリック	・ スケジュール確認画面に遷移します。	
タブメニュー	・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。	

3-17. 設定－スケジュール設定－スケジュール実行画面

3-17-1. 概要

スケジュール実行、特定日スケジュール実行、人感センサ連動実行、スケジュール停止 4 つのメニューがあり、いずれかをタッチすると、対象範囲で設定したコントローラに対して対応する動作の実行指示をおこないます。

【重要】

マニュアル動作時にはスケジュールは実行されません。シーン選択画面でいずれかのシーン選択ボタンを押してシーン実行してからスケジュールの実行指示をおこなってください。

3-17-2. 画面仕様



図 3-18[スケジュール実行画面]

3-17-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
対象選択部	・ 対象選択部の操作は 3-2 項を参照してください。	
「戻る」ボタン左クリック	・ スケジュール設定メニュー 覧に戻ります。	
「現行スケジュール実行」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象範囲で設定したコントローラに対して、週間スケジュール、年間スケジュールで設定されているスケジュールの実行を指示します。 ・ 年間スケジュールでスケジュール設定されている日付ではその日付のスケジュールが優先して実行され、スケジュール設定されていない日付では週間スケジュールでその曜日に設定されたスケジュールが実行されます。 	マニュアル動作時にはスケジュールは実行されません。シーン選択画面でいずれかのシーン選択ボタンを押してシーン実行してからスケジュールの実行指示をおこなってください。
「特定日スケジュール実行」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象範囲で設定したコントローラに対して、年間スケジュールでスケジュールが設定されている日付の内、最初の日付に設定されているスケジュールの実行を指示します。 ・ 翌日 0:00 以降は通常のスケジュール実行に戻ります。 	
「人感センサ連動実行」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象範囲で設定したコントローラに対して、人感センサによる人検知をトリガーにした設定したスケジュールでの実行を指示します。 ・ 人感センサ連動で実行するスケジュールは、スケジュールパターンが”タイマー”モードに設定されている必要があります。”タイマー”モードのスケジュールパターンでは、人を検知してからの経過時間に応じてシーンを切り替えます。 	
「スケジュール停止」ボタン左クリック	・ 対象範囲で設定したコントローラに対して、スケジュールの停止を指示します。	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。 	

3-18. 設定－スケジュール設定－スケジュールパターン設定画面

3-18-1. 概要

対象範囲で設定したコントローラに対して、スケジュール 1～4 のスケジュールパターンを設定します。

スケジュールパターンには、時刻モードとタイマーモードがあります。

時刻モードでは開始時刻と、その時刻になったら開始するシーン(“通常”含む)情報との組で設定します。1つのスケジュールに対して最大 10 個のシーン開始時刻を設定できます。

タイマーモードは人感センサ連動でスケジュール実行する際に使用するスケジュールパターンで、人感センサが人検知してからの経過時間(分:秒)に応じて実行させるシーン(“通常”含む)を設定します。最大 10 個のシーン開始時間を設定できます。

3-18-2. 画面仕様

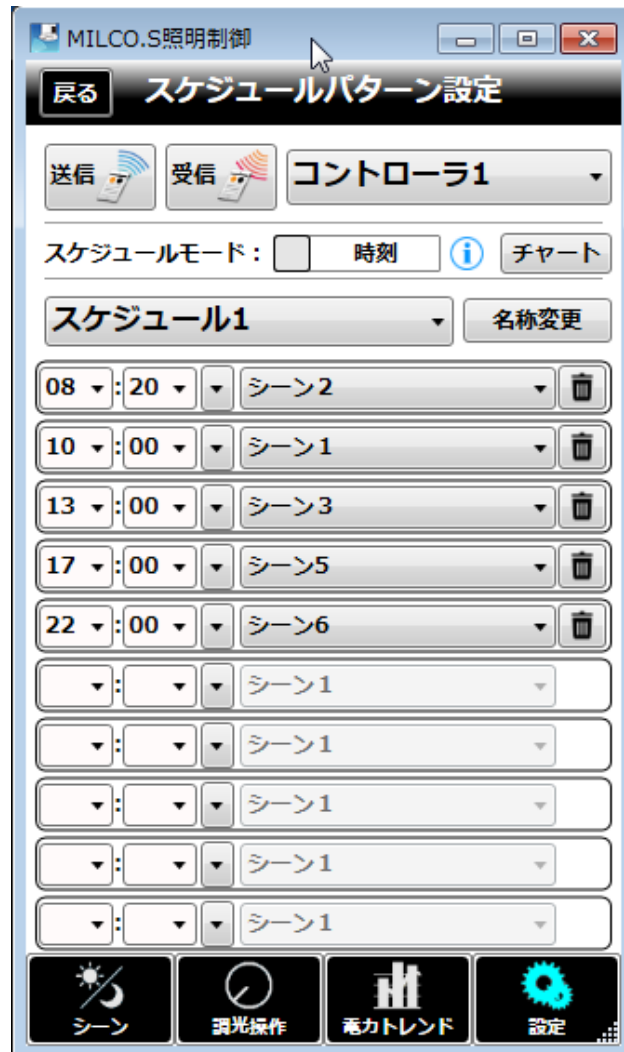



図 3-19[スケジュールパターン設定画面]

3-18-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
対象選択部	・ 対象選択部の操作は 3-2 項を参照してください。	
「戻る」ボタン左クリック	・ スケジュール設定メニュー一覧に戻ります。	
「受信」ボタン左クリック時	・ 現在選択している対象の最新情報を取得します。取得した値は画面に反映されます。 ・ 受信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。	
「送信」ボタン左クリック	・ 現在選択している対象に画面表示値を設定します。 ・ 送信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。	
「スケジュール名称」リストボックス	・ 初期表示は“スケジュール名称1”です。2 回目以降は前回名称が表示されます。 ・ スケジュール名称の右側の▲/▼を押すとスケジュール名称が変わります。表示されている名称が選択状態になります。 ・ 名称部の右側にある「名称変更」ボタンを左クリックすることでスケジュールの名称を変更することができます。「変更完了」ボタンを押すとスケジュール名称選択に戻ります。	
スケジュールパターン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 スケジュールパターン当たり最大 10 個の開始時刻とシーン(“通常”含む)の組み合わせを割当可能です。 ・ 開始時刻は、“時刻”モードの場合は“時:分”、“タイマー”モードの場合は“分:秒”です。タイマーモードではシーン切り替え間隔は 23 分 59 秒まで設定できません。  <p>スケジュールモード選択部</p> <p>時刻・時間選択部</p> <p>シーン選択部</p>	
スケジュールモード選択部	<ul style="list-style-type: none"> ・ スケジュールモード選択部で“時刻”モードか“タイマー”モードかを選択します。 ・ “タイマー”モードのスケジュールは、人感センサ連動で、人検知をトリガーにして経過時間でシーンを切り替える場合に選択します。 	
時刻・時間選択部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初期表示は空白です。 ・ スケジュールモードが“時刻”モードの場合は“時:分”、“タイマー”モードの場合は“分:秒”を選択します。タイマーモードではシーン切り替え時間は 23 分 59 秒まで設定できません。 ・ 操作方法は 3-5 項を参照してください。 ・ スケジュールモードが“時刻”モードの場合、時刻を選択後に列が自動的に昇順にソートされます。時刻を選択してからシーンの選択をおこなってください。 	

シーン選択部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初期表示は“通常名称”です。 ・ 左クリックすることでシーンを選択するドロップダウンメニューが表示されます。 	
「削除」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同一行のスケジュールを削除します。 	
「チャート」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ スケジュールチャート画面を開きます。ポイントにマウスを合わせると設定された「時刻と調光率」が表示されます。 <div data-bbox="509 344 1235 781" data-label="Figure"> </div> <p>「印刷」ボタンを左クリックすると印刷画面が表示され、指定したプリンターに出力されます。</p>	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。 	

3-19. 設定－スケジュール設定－週間スケジュール設定画面

3-19-1. 概要

対象範囲で設定したコントローラに対して、曜日単位でスケジュールなし、または、スケジュール1～4からスケジュールパターンを設定します。

3-19-2. 画面仕様



図 3-20[週間スケジュール設定画面]

3-19-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
対象選択部	・ 対象選択部の操作は 3-2 項を参照してください。	
「戻る」ボタン左クリック	・ スケジュール設定メニュー一覧に戻る。	
「受信」ボタン左クリック時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在選択している対象の最新情報を取得します。取得した値は画面に反映されます。 ・ 受信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。 	
「送信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在選択している対象に画面表示値を設定します。 ・ 送信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。 	
各曜日のスケジュール設定欄	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各曜日に設定するスケジュールパターンを選択します。 ・ 初期表示は“なし”です。 ・ 左クリックするとスケジュールパターンを選択するドロップダウンメニューが表示されます。スケジュールパターンの設定が無い場合は“なし”を選択します。 	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。 	

3-20. 設定—スケジュール設定—年間スケジュール設定画面

3-20-1. 概要

対象範囲で設定したコントローラに対して、年間の特定日にスケジュールなし、または、スケジュール 1～4 からスケジュールパターンを設定します。

特定日のスケジュールは週間スケジュールに優先します。特定日は最大 30 日まで設定できます。年の設定はなく、毎年同じ日が特定日となります。年は意味を持たないので、西暦何年を選んで日付を選択しても構いません。2/29 を特定日にする場合は閏年の 2 月を表示し、2/29 を選択してスケジュールパターンを設定してください。

「カレンダー日」欄では、週間スケジュールに設定済みの曜日は、設定されたスケジュールパターンに応じて、画面下部に凡例が示された色の内、左上の赤三角が無い薄い方の色で表示されます¹³。

特定日を設定すると設定日は、画面下部に凡例が示された色の内、左上に赤三角がある濃い方の色で表示されます。「カレンダー日」欄で西暦何年を選んで同じ月日であれば同じ色で表示されます。

3-20-2. 画面仕様



図 3-21[年間スケジュール設定画面]

¹³ 本ソフトウェアでは週間スケジュール設定画面で曜日ごとに選択したスケジュールは年間スケジュール設定画面の「カレンダー日」欄の表示にすぐに反映されますが、週間スケジュール設定画面からの送信または一括送信がおこなわれるまではコントローラの制御には反映されない点に注意してください。

3-20-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
対象選択部	<ul style="list-style-type: none"> 対象選択部の操作は 3-2 項を参照してください。 	
「戻る」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール設定メニュー一覧に戻る。 	
「受信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 現在選択している対象の最新情報を取得します。取得した値は画面に反映されます。 受信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。 	
「送信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 現在選択している対象に画面表示値を設定します。 送信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。 	
カレンダー日	<ul style="list-style-type: none"> 日付を左クリックで選択し、薄青の選択色になっている状態でマウスを右クリックすると、選択した日付に設定するスケジュールパターンを選択する画面(下図)が表示されます。 <div data-bbox="711 611 1061 728" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> スケジュールパターン名(“なし”を含む)が表示された部分を左クリックするとスケジュールパターンを選択するドロップダウンメニューが表示されます。スケジュールパターンを設定しない場合は“なし”を選択します。 スケジュールパターンを選択したら「OK」ボタンを押してください。スケジュール選択をやめる場合は「キャンセル」ボタンを押してください。 スケジュールを設定する日付は、コントロールキーまたはシフトキーを押しながら選択することで複数の日付を同時に選択することもできます。 スケジュール登録できる日は最大 30 日までです。それを超える日数を登録しようとした場合、「登録できるスケジュールは年間 30 件までです。」というメッセージが表示されます。 	<p>2/29 にスケジュールを設定したい場合は、閏年の年の 2 月にカレンダーの年月を移動して設定してください。</p> <p>月日のみを使用されますのでどの年で設定しても構いません。</p>
「◀」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 現在表示している月カレンダーの前月を表示します。 	
「▶」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 現在表示している月カレンダーの翌月を表示します。 	
「特定日一覧」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 設定されている特定日をリスト形式で一覧表示します。 <div data-bbox="580 1258 833 1684" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> [削除]ボタンを左クリックすると、同一行の日付のスケジュール設定が削除されます。 [戻る]ボタン左クリックで特定日一覧ダイアログを閉じます。 	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> 画面を切り替えます。 タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。 	

3-21. 設定－スケジュール設定－スケジュール確認画面

3-21-1. 概要

スケジュールパターンの設定内容を確認します。

ボタンを押すたびにスケジュールパターンのステップを 1 つずつ実行することで確認する”ステップ実行”と、1 時間を 6 秒間に短縮してスケジュールパターンを実行する”時間短縮実行”の 2 種類の方法でスケジュール設定内容を確認できます。

スケジュール確認停止ボタンを押すことで確認を終了します。

3-21-2. 画面仕様

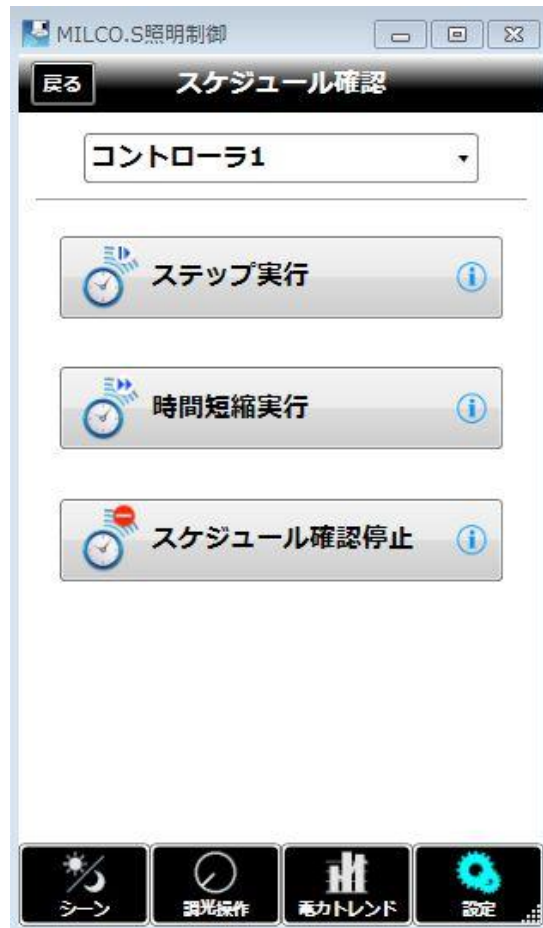


図 3-22[スケジュール確認画面]

3-21-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
対象選択部	・ 対象選択部の操作は 3-2 項を参照してください。	
「戻る」ボタン左クリック	・ スケジュール設定メニュー一覧に戻る。	
「ステップ実行」ボタン左クリック	・ このボタンを左クリックするたびにスケジュールパターンの各ステップを実行します。	
「時間短縮ボタン」ボタン左クリック	・ このボタンを左クリックすると、1 時間を 6 秒間に短縮してスケジュールパターンを実行します。	
「スケジュール確認停止」ボタン左クリック	・ スケジュールパターンの確認を終了します。	
タブメニュー	・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。	

3-22. 設定－運用設定画面

3-22-1. 概要

調光出力モード、照度センサ感度、照度制御、人感センサ検知、接点機能、最大電力値、復電モード、調光信号、日時、アドレス・グループ、異常表示、その他、の中から設定対象のカテゴリを選択してコントローラの運用設定をおこないます。

双方向ワイヤレスリモコンで設定・実行可能な項目の内、本ソフトウェアで設定・実行できない項目は以下の通りです。

- ・初期設定プリセット、アドレス番号が 1～10 以外のコントローラアドレス設定
⇒設備インターフェース機器とコントローラとの通信ができなくなってしまうため、本ソフトウェアでは設定できません。
- ・メルセーブ IV モード、オプション操作
⇒メルセーブ IV シリーズのコントローラ用の機能なので本ソフトウェアでは設定できません。
- ・通信設定
⇒無線 LAN の設定を変更すると接続できなくなるため、本ソフトウェアでは設定できません。

3-22-2. 画面仕様

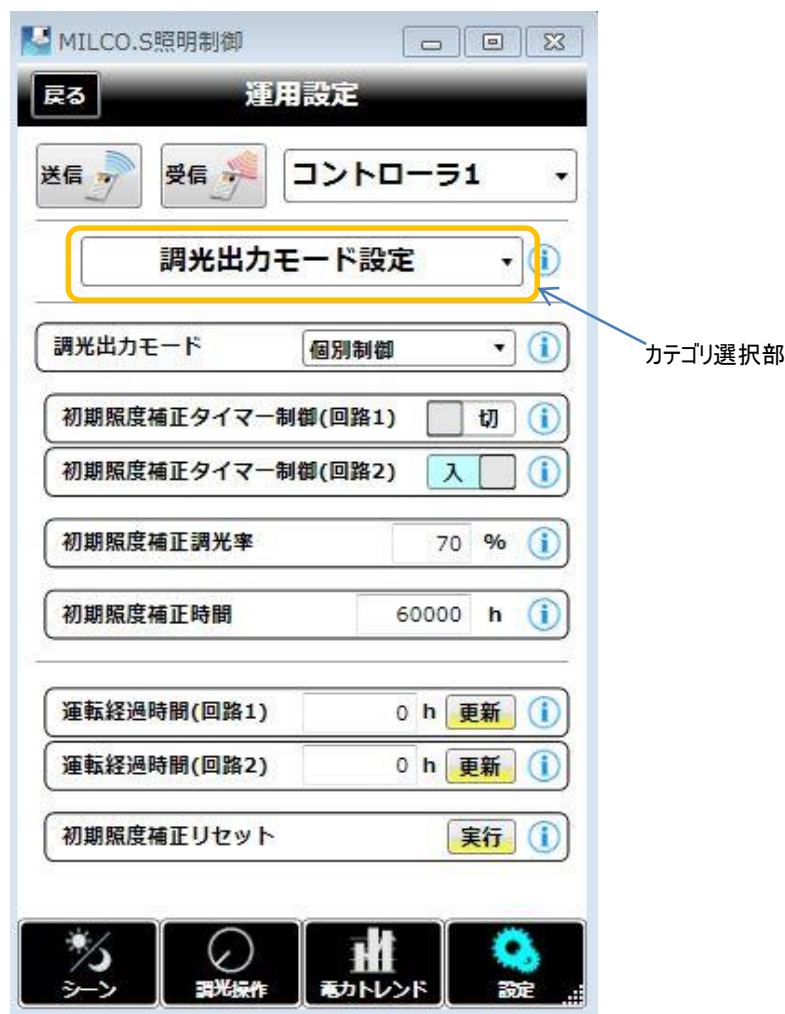


図 3-23[運用設定画面]

3-22-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
対象選択部	・ 対象選択部の操作は 3-2 項を参照してください。	
「戻る」ボタン左クリック	・ 設定メニュー一覧に戻る。	
「受信」ボタン左クリック時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在選択しているコントローラの最新設定値を取得します。取得した値は画面に反映されます。 ・ 値を取得する設定項目は、カテゴリ選択部で選択されているカテゴリに含まれる設定項目のみです。 ・ 運用設定画面では全カテゴリの設定項目の値を一度に取得することはできません。 ・ 受信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。 	
「送信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在選択している対象に画面表示値を設定します。 ・ 値を設定する設定項目は、カテゴリ選択部で現在選択されているカテゴリに含まれる設定項目のみです。 ・ 運用設定画面では全カテゴリの設定項目の値を一度に設定することはできません。 ・ 送信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。 	
「更新」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在選択しているコントローラの、画面上で「更新」ボタンが含まれている項目の値を更新します。 ・ このボタンが含まれている項目に関しては、「送信」ボタンを押しても値は送信されません。 	
「実行」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在選択しているコントローラに対して、画面上で「実行」ボタンが含まれている項目の実行を指示します。 ・ このボタンが含まれている項目は、「送信」ボタンを押しても実行指示されません。 	
「変更」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在選択している対象の、画面上で「変更」ボタンが含まれている項目の値を変更します。 ・ このボタンが含まれている項目は、「送信」ボタンを押しても値が送信されません。 	
カテゴリ選択部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受信、送信の対象となる運用設定の項目のカテゴリをドロップダウンメニューで選択します。選択可能なカテゴリは以下の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 調光出力モード設定 ➢ 照度センサ感度設定 ➢ 照度制御設定 ➢ 人感センサ検知設定 ➢ 接点機能設定 ➢ 最大電力値設定 ➢ 復電モード設定 ➢ 調光信号設定 ➢ 日時設定 ➢ アドレス・グループ設定 ➢ 異常表示 ➢ その他 	
運用設定		
調光出力モード設定	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドロップダウンメニューから、個別制御、バランス制御、色温度制御、昼光センサ制御の 4 モードのいずれかを選択します。 ・ モードによって設定が必要な項目が異なるため、選択した調光出力モードで表示された項目のみ設定をおこなってください。 ・ 調光操作画面でコントローラの色温度を操作する場合は、該コントローラの調光出力モードが色温度制御に設定されている必要があります。 	
個別制御		
初期照度補正 タイマー制御(回路 1)	・ 数値を入力します。	
初期照度補正 タイマー制御(回路 2)		

	初期照度補正調光率		
	初期照度補正時間		
	運転経過時間(回路 1)	<ul style="list-style-type: none"> ・「受信」ボタン左クリックで運転経過時間を取得します。 ・数値を入力し、枠内の「更新」ボタン左クリックで運転経過時間を更新することができますが、初期照度補正制御に影響を与えるため、照明器具の取り換え時などにのみ使用してください。 	
	運転経過時間(回路 2)		
	初期照度補正リセット		
	バランス制御		
	バランス率		
	色温度制御		
	白色 LED 色温度		
	白色 LED 光束		
	電球色 LED 色温度		
	電球色 LED 光束		
	昼光センサ制御		
	照度変化量(回路 1)		
	照度変化量(回路 2)		
照度センサ感度設定		・照度センサの感度設定をおこないます。	
感度設定モード		・感度設定モードを、自動、簡単、から選択します。	
感度設定モード【自動】			
	初期照度	・数値を入力し、枠内の「送信」ボタンを左クリックして送信します。	
	目標照度	・数値を入力し、枠内の「送信」ボタンを左クリックして送信します。	
	感度設定	・枠内の「実行」ボタンをマウス左クリックすることで自動感度設定の実行が指示されます。	
感度設定モード【簡単】			
	目標照度	・数値を入力し、枠内の「送信」ボタンを左クリックして送信します。	
	調光率／色温度調整	<ul style="list-style-type: none"> ・「調整」ボタンを左クリックすると、調光率と色温度を調整する画面が表示されます。調光出力モードが色温度制御の場合にのみ色温度の調整が可能になります。 ・調光率と色温度(色温度制御時のみ)をスライダーバーで指定します。 ・調整が終わったら「閉じる」ボタンを左クリックして元の画面にもどります。 	
	感度設定	・枠内の「実行」ボタンを左クリックすることで簡単感度設定の実行が指示されます。	
	照度モニタ	・「受信」ボタンを左クリックすると照度センサが検知した現在の照度値が表示されます。	
	初期照度	・「受信」ボタンを左クリックすると簡単感度設定で設定された初期照度値が表示されます。	
センサ補正		・枠内の「実行」ボタンをマウス左クリックすることでセンサ補正の実行が指示されます。	
照度制御設定		・昼光補正制御時の減光率、および、昼間明るい場合に消灯をおこなう消灯制御時のチャタリングの設定をおこないます。	
	昼光補正:減光率	・数値を入力します。	
	消灯制御:チャタリング設定	・数値を入力します。	
人感センサ検知設定		・人感センサの検知設定をおこないます。	
	オフセット:センター	・数値を入力します。	
	オフセット:幅		
	検知条件:パルス幅		
	検知条件:検知回数		

点灯不要照度	・点灯不要照度の設定をするかどうかを「切」「入」で指定します。 ・「入」指定時には点灯不要照度を入力します。	
接点機能設定	・コントローラの接点を用いて、入力でシーンを切り替えたり、シーン状態や消灯／点灯状態などを出力したりする設定をおこないます。	
接点組合せ	・接点 1 と接点 2 を組み合わせて使用するか、個別に使用するかを選択します。	
接点組合せ【切】		
接点 1:モード	・ドロップダウンメニューから、接点 1 のモードを選択します。	
接点 1:論理	・接点 1 が ON 時の論理を正にするか負にするかを選択します。	
接点 1:換気扇連動 遅延時間	・“接点 1:モード”で“(出)換気扇連動”を選択した場合に、人の在検知をしてから接点出力するまでの時間を指定します。	
接点 2:モード	・ドロップダウンメニューから、接点 2 のモードを選択します。	
接点 2:論理	・接点 2 が ON 時の論理を正にするか負にするかを選択します。	
接点 2:換気扇連動 遅延時間	・“接点 2:モード”で“(出)換気扇連動”を選択した場合に、人の在検知をしてから接点出力するまでの時間を指定します。	
接点組合せ【入】		
接点	・接点入力に使うか接点出力に使うかを選択します。	
論理	・接点が ON 時の論理を正にするか負にするかを選択します。	
最大電力値設定	・各回路に接続する照明器具の定格消費電力の合計値を設定します。	
最大電力値(回路 1)	・数値を入力します。	
最大電力値(回路 2)		
復電モード設定	・復電時に戻す状態を設定します。	
復電モード	・“最終状態に戻すか自動運転モードに戻すか”を指定します。	
調光信号設定	・調光信号の設定をします。	
調光周波数	・“1kHz”か“100Hz”か、を指定します。	
調光信号 Duty	・数値を入力します。	
日時設定	・コントローラの日時設定をおこないます。 ・MILCO.S ではコントローラ間で自動的に時刻同期がおこなわれるため、アドレスが一番小さいコントローラに対して日時を設定してください。	
日付変更	・日付を選択します。	
時刻変更	・時刻を選択します。	
PC 日時	・“取得”ボタンを押すと、現在の PC の時刻を取得し、“日付変更”と“時刻変更”の両方の欄に表示します。	
時計補正	・数値を入力します。	
アドレス・グループ設定	・コントローラのアドレス、グループを設定します。	
アドレス番号	・数値を入力します。	
グループ番号	・“変更”ボタンを押すとコントローラに設定値が送信されます。	
異常表示	・コントローラの異常表示の設定をします。また、コントローラで発生しているエラーを受信することができます。	
異常表示	・“入”、“切”を指定します。	
ブザー音		
エラーモニタ	・コントローラで発生しているエラーを受信した結果が表示されます。	
その他	・その他の運用設定をおこないます。	
本体バージョン情報	・コントローラの F/W のバージョンを表示します。	
設定クリア	・コントローラのメモリをクリアする場合に“実行”ボタンを左クリックします。 ・コントローラのアドレスが 0 になるため、設備インターフェース機器経由での通信はできなくなります。赤外線リモコンを用いてアドレスを再設定してください。	
照度センサ セルフテスト	・照度センサの動作試験を行う場合に“実行”ボタンを左クリックします。	

	照度センサ ゲイン	・ 数値を入力します。	
	照度センサ センサ値		
	人感センサ状態	・ 人感センサが在検知状態か否かを受信し表示します。 ・ 人感センサが人を検知しなくなってから不在状態になるまでの時間は、シーン設定画面で設定する、その時点で動作中のシーンの人感センサ保持時間で決まります。	
タブメニュー		・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。	



図 3-24[調光出力モード設定画面]



図 3-25[照度センサ感度設定画面]

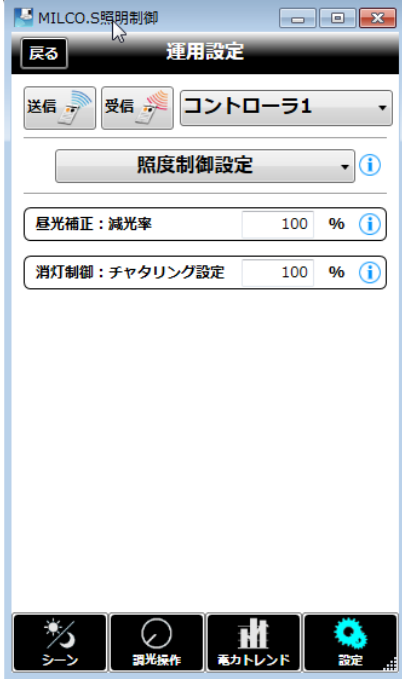


図 3-26[照度制御設定画面]

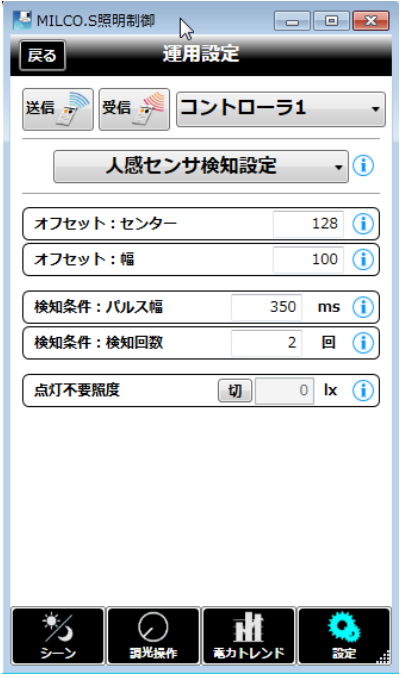


図 3-27 人感センサ検知設定画面]

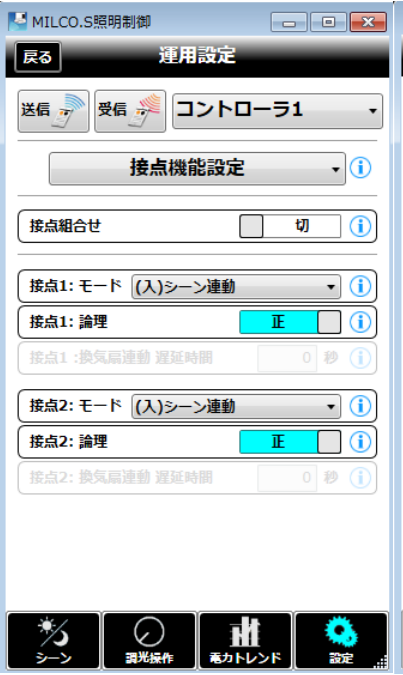


図 3-28[接点機能設定画面]



図 3-29[最大電力値設定画面]

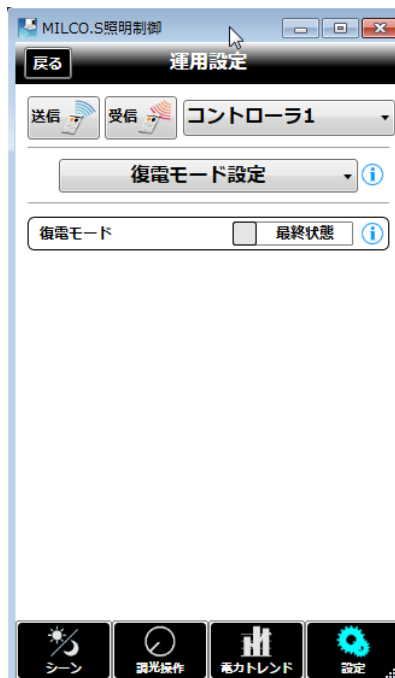


図 3-30[復電モード画面]

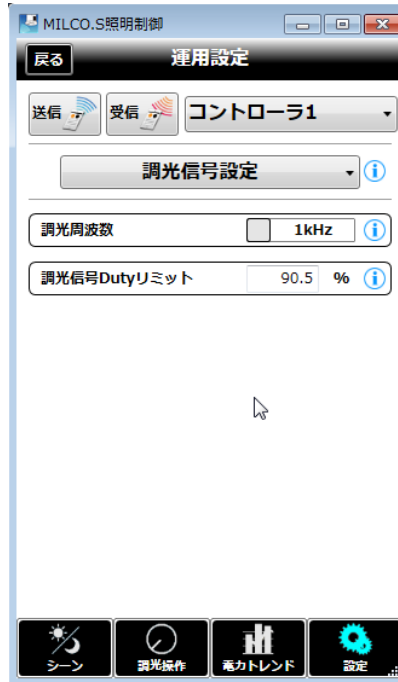


図 3-31[調光信号設定画面]

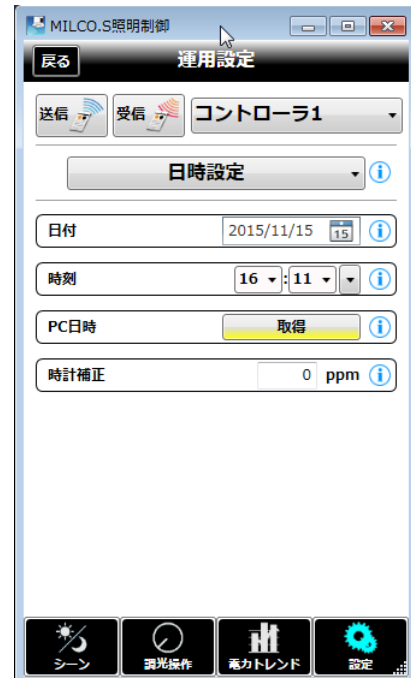


図 3-32[日時設定画面]

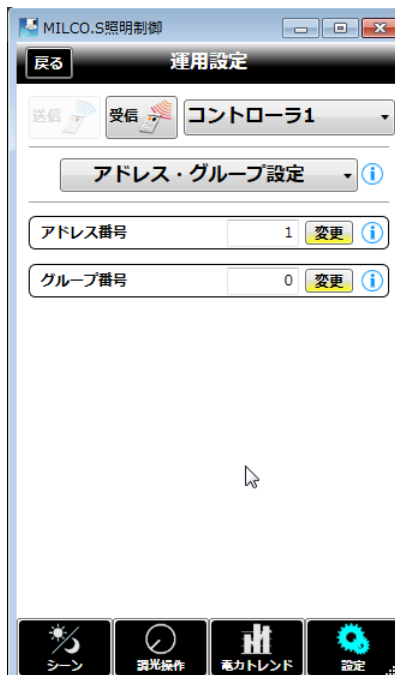


図 3-33[アドレス・グループ設定画面]

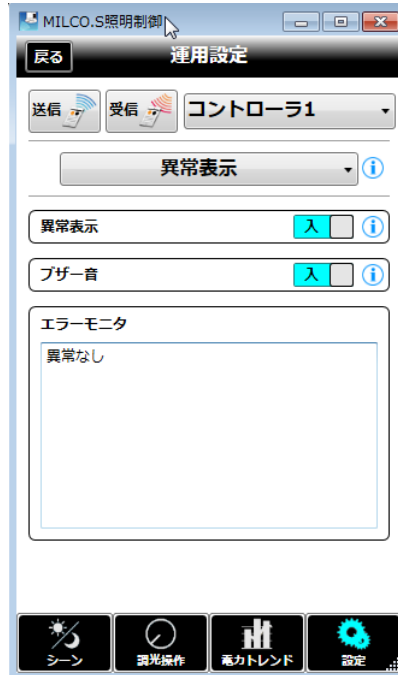


図 3-34[異常表示設定画面]

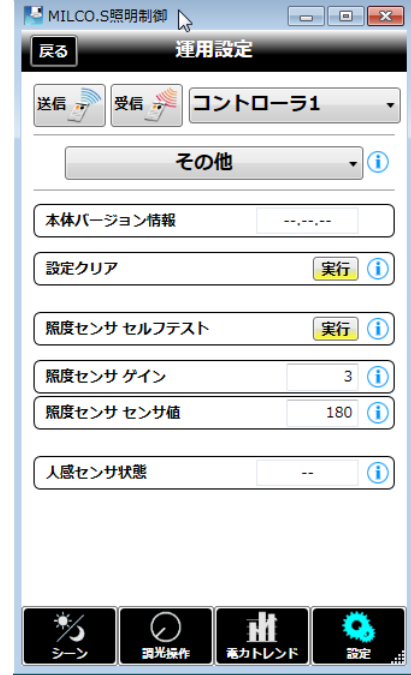


図 3-35[その他画面]

3-23. 設定データ管理画面

3-23-1. 概要

一括送受信、設定コピー、ファイル保存・読出の3つのメニューがあり、いずれかをタッチすると対応する設定画面に遷移します。

3-23-2. 画面仕様

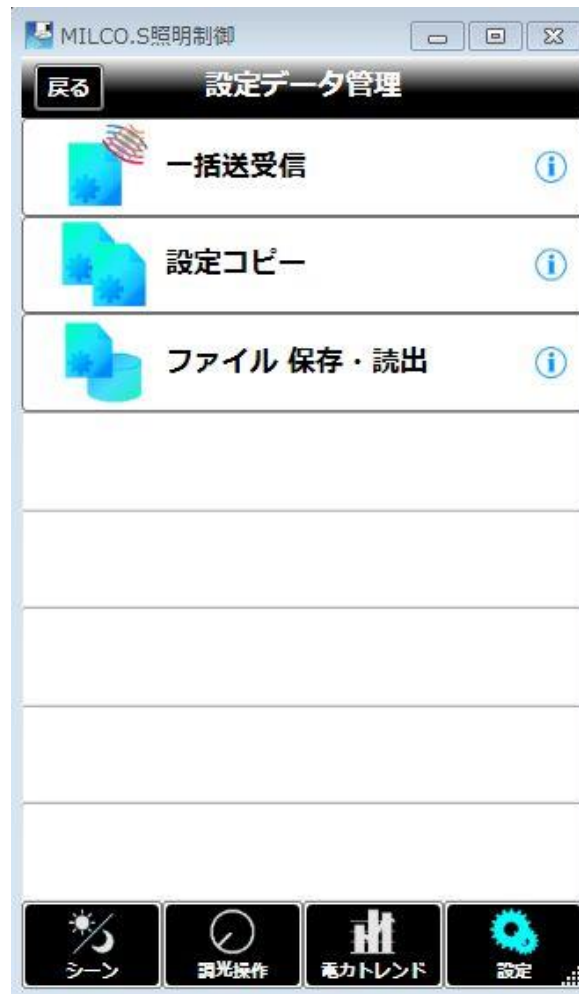


図 3-36[設定データ管理画面]

3-23-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	・ 設定画面に戻ります。	
「一括送受信」ボタン左クリック	・ 一括送受信画面に遷移します。	
「設定コピー」ボタン左クリック	・ 設定コピー画面に遷移します。	コントローラが1台のみの場合は有効になりません。
「ファイル保存・読出」ボタン左クリック	・ ファイル保存・読出画面に遷移します。	
タブメニュー	・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。	

3-24. 設定－設定データ－一括送受信画面

3-24-1. 概要

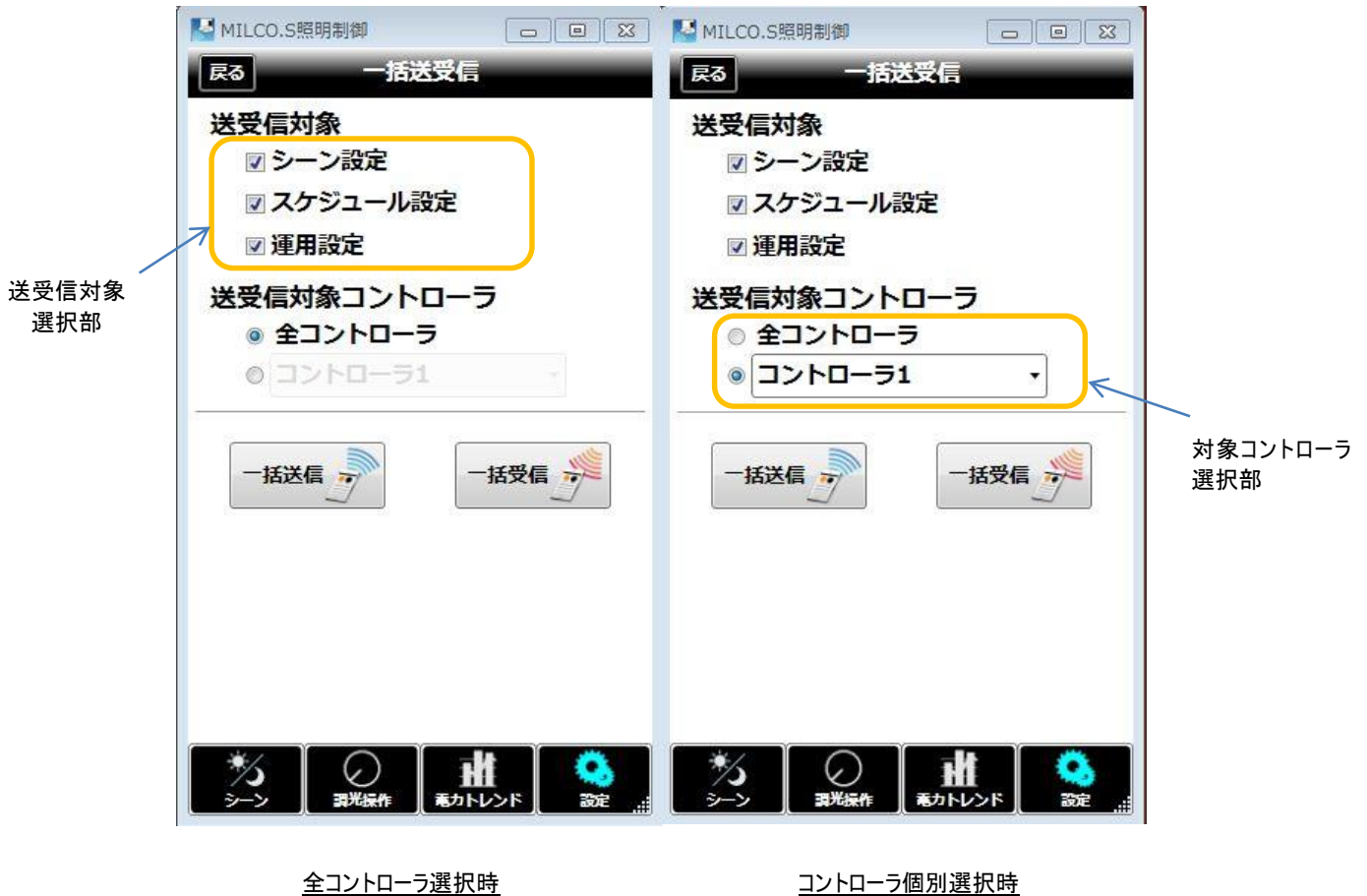
シーン設定、スケジュール設定、運用設定の一括送受信をおこないます。3 種類の内のどの設定を一括送受信の対象にするかをチェックボックスで選択可能です。複数種類の設定を一括送受信の対象にする事もできます。

送受信対象のコントローラは、全コントローラ、または、送受信対象コントローラ選択部で選択した 1 つのコントローラになります。

【重要】

コントローラのアドレス設定やグループ番号設定などの、運用設定画面で画面左上の“送信”ボタンによる送信対象になっていない設定値は一括送信の対象にはなりません。運用設定画面の対象設定値欄にある“送信”ボタンや“更新”ボタンで送信をおこなってください。

3-24-2. 画面仕様



全コントローラ選択時

コントローラ個別選択時

図 3-37[一括送受信画面]

3-24-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定画面に戻ります。 	
送受信対象選択部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一括送受信の対象とする設定データを、スケジュール設定、シーン設定、運用設定、からチェックボタンで選択します。 ・ 複数種類の設定データを選択することができます。 	
対象コントローラ選択部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一括送受信の対象とするコントローラを選択します。 ・ ラジオボタンで全コントローラを選択した場合、全てのコントローラの設定データをアドレスの若い順に送受信します。一つのコントローラの送受信対象設定を全て送受信してから次のコントローラの処理に移ります。 ・ ラジオボタンで全コントローラを選択しない場合、一括送受信の対象とするコントローラをドロップダウンリストで選択します。 	
「一括送信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 送受信対象コントローラ選択部で選択したコントローラの、送受信対象選択部で選択した設定データを一括送信します。 	
「一括受信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 送受信対象コントローラ選択部で選択したコントローラの、送受信対象選択部で選択した設定データを一括受信します。 	
「中止」ボタン 左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一括送受信には時間がかかるため、送受信処理中にのみ、中止を可能にする”中止”ボタンが表示されます。 ・ “中止”ボタンを押すと、送受信の処理の区切りのタイミングで送受信を中止します。中止するまでに送受信された設定データを元に戻すことはできません。 	一括送信中、または、一括受信中のみ表示
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。 	

3-25. 設定－設定データ－設定コピー画面

3-25-1. 概要

一つのコントローラのシーン設定、スケジュール設定、運用設定を他のコントローラの設定にコピーします。

【重要】

本ソフトウェア内部の設定データをコピーする処理ですので、実際にコントローラ内に設定されているデータは本機能のみではコピーされません。

コントローラ内に設定されているデータを他のコントローラ内に設定する場合は、一括送受信画面でコピー元のコントローラから一括受信し、本機能でコピーしてからコピー先のコントローラに一括送信してください。

3-25-2. 画面仕様

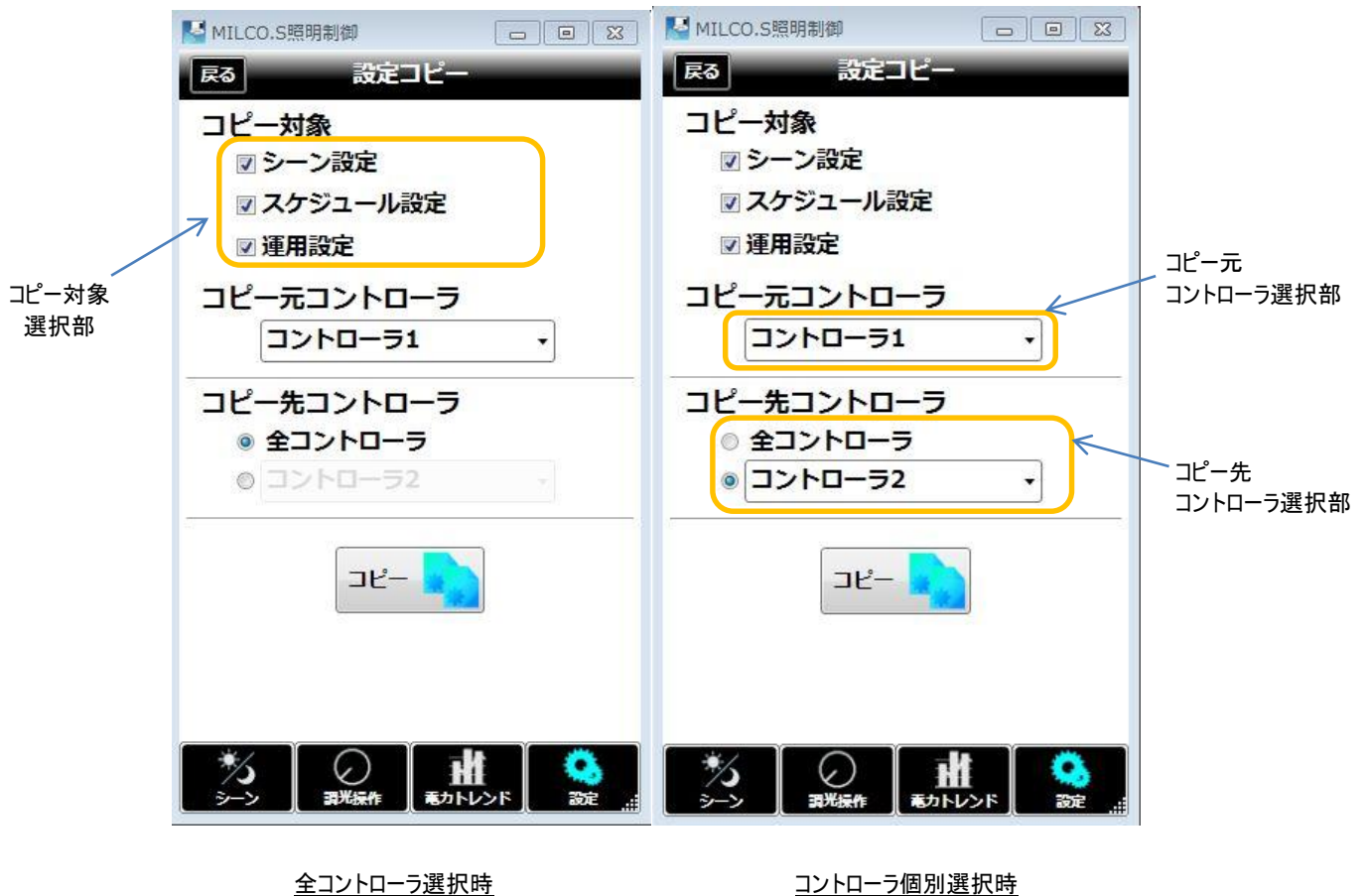


図 3-38[設定コピー画面]

3-25-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 設定画面に戻ります。 	
コピー対象選択部	<ul style="list-style-type: none"> 設定コピーの対象とする設定データを、スケジュール設定、シーン設定、運用設定、からチェックボタンで選択します。 複数種類の設定データを選択することができます。 	
コピー元コントローラ選択部	<ul style="list-style-type: none"> 設定コピーのコピー元とするコントローラをドロップダウンリストで選択します。 本機能は本ソフトウェアの内部データのみをコピーしますので、コピー元コントローラ内の設定データをコピーする場合はあらかじめ一括送受信機能でコピー元コントローラから設定データを一括受信しておいてください。 	
コピー先コントローラ選択部	<ul style="list-style-type: none"> 設定コピーのコピー先とするコントローラを選択します。 ラジオボタンで全コントローラを選択した場合、「コピー」ボタンを押すとコピー元コントローラを除く他の全てのコントローラに設定データをコピーします。 ラジオボタンで全コントローラを選択しない場合、コピー先とするコントローラをドロップダウンリストで選択します。 	
「コピー」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> コピー元コントローラの設定データをコピー先コントローラにコピーします。 本ソフトウェアの内部データのコピーですので、コピー後は一括送受信機能でコピー先コントローラに設定データを一括送信してください。 	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> 画面を切り替えます。 タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。 	

3-26. 設定－設定データファイル保存・読出画面

3-26-1. 概要

一つの MILCO.S システムの全コントローラと全グループ、または、その内の一つのコントローラの設定データのファイル保存、または、ファイルに保存した設定データを MILCO.S システムの全コントローラと全グループ、または、指その内の一つのコントローラへの読み出しをおこないます。

全コントローラと全グループを対象に保存した MILCO.S システム設定ファイル(拡張子: milcossysx)と、一つのコントローラを対象とした MILCO.S 設定ファイル(拡張子: milcosx)とは互換性がない点に注意してください。

一つのコントローラを対象とした MILCO.S 設定ファイルではアドレスとグループ番号は読出の対象外ですので、コントローラからファイル保存した MILCO.S 設定ファイルを異なるアドレスを持つコントローラに読み出すことができます。

MILCO.S システム設定ファイルの場合は、読出しをおこなうと本アプリケーション内のシステム構成(コントローラ数、グループ数、コントローラのアドレス、グループの番号、コントローラに割り当てられたグループ番号)は MILCO.S システム設定ファイルを保存した際の状態になります。

【重要】

読み出したシステム構成と設定データを送信する先のシステム構成が異なると矛盾が生じます。保存時の MILCO.S システムと異なるシステムに適用する場合は、コントローラの数と各コントローラのアドレスを保存時のシステムと同一の状態にあらかじめしておいてください。

3-26-2. 画面仕様



図 3-39[ファイル保存・読出画面]

3-26-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 設定画面に戻ります。 	
「保存」／「読出」ラジオボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ファイルへの保存か、ファイルからの読出かを選択します。 「保存」を選択すると「保存」ボタンと保存元コントローラ選択部が、「読出」を選択すると「読出」ボタンと読出先コントローラ選択部が、それぞれ表示されます。 	
対象設定選択部	<ul style="list-style-type: none"> 設定コピーの対象とする設定データを、スケジュール設定、シーン設定、運用設定、からチェックボタンで選択します。 複数種類の設定データを選択することができます。初期状態では全て選択されています。 	
保存元コントローラ選択部	<ul style="list-style-type: none"> 保存元とするコントローラをドロップダウンリストで選択します。 	「保存」ラジオボタン選択時のみ表示
「保存」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 保存元コントローラの全設定データをファイルに保存します。 ボタンを押すと Windows の「名前を付けて保存」ファイルを開くダイアログが表示されます。 	
読出先コントローラ選択部	<ul style="list-style-type: none"> 読出先とするコントローラをドロップダウンリストで選択します。 ・ 	「読出」ラジオボタン選択時のみ表示
「読出」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ファイルから読出先コントローラに全設定データを読出します。 ボタンを押すと Windows の「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。 	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> 画面を切り替えます。 タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。 	

3-27. ワイヤレス設定

3-27-1. 概要

MILCO. Sワイヤレス専用設定画面です。システムIDの設定とモニタや無線情報の初期化をおこないます。

3-27-2. 画面仕様



図 3-40[ワイヤレス設定画面]

3-27-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「受信」ボタンの左クリック	・ コントローラのシステムIDをモニタします。	
対象コントローラ選択部	・ 対象とするコントローラをドロップダウンリストで選択します。	
「システムID設定」ボタン左クリック	・ コントローラと照明器具間で使用される無線通信のシステムIDを設定します。 ・ システムIDは、コントローラ内の無線ユニットで管理されている情報から自動的にID番号が設定されます。	
「無線情報初期化」ボタン左クリック	・ コントローラ内の無線ユニットの情報が工場出荷設定になります。 ・ システムID、ショートアドレス情報が初期値になります。	
タブメニュー	・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。	

3-28. 設定－ネットワーク設定画面

3-28-1. 概要

設備インターフェース機器と通信するためのネットワーク設定をおこないます。

3-28-2. 画面仕様



図 3-41[ネットワーク設定画面]

3-28-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	・ 設定メニュー一覧に戻る。	
「IP アドレス」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備インターフェース機器の IP アドレスを設定します。 “192.168.”までは固定ですので変更できません。 3 桁目は 0～255 の間で設定します。 4 桁目は 1～254 の間で設定します。 ・ 設定変更後は接続テストをおこなってください。 ・ 初期表示は“192.168.101.1”です。 値が保存されますので、本ソフトウェアの 2 回目以降の立ち上げでは前回値が表示されます。 	
「自動取得」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設備インターフェース機器の IP アドレスを検索し、見つかった設備インターフェース機器の IP アドレスを「IP アドレス」欄に表示します。 ・ 複数の設備インターフェース機器(インフラストラクチャモード)が同じ無線 LAN ルータに接続している場合は、“自動取得”を長押ししてから離すと、検索して見つかった接続可能な設備インターフェース機器の IP アドレスの 4 桁目がアドレスリストのリストダウンメニューに表示されます。リスト中からどの IP アドレスに接続するかを選択してください。 	
「接続テスト」ボタン左クリック	・ 「IP アドレス」欄で指定した設備インターフェース機器の IP アドレスに対して接続確認を行います。	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。 	

3-29. 設定一名称変更画面

3-29-1. 概要

本ソフトウェアで表示されるコントローラ、グループの名称変更をおこないます。

例えば、「コントローラ 3」のように表示されるとそのコントローラの照明制御対象となる場所との対応が判り難い場合に、判りやすい名称(画面での表示幅で文字数が制限されます。全て全角文字の場合は最大 9 文字。半角の場合は使用する文字の表示幅により最大文字数が変わります)に変更して表示することができます。

【重要】

名称変更画面では、名称の重複や空文字列のチェックをおこないません。誤操作防止のため、名称を重複させないでください。

3-29-2. 画面仕様

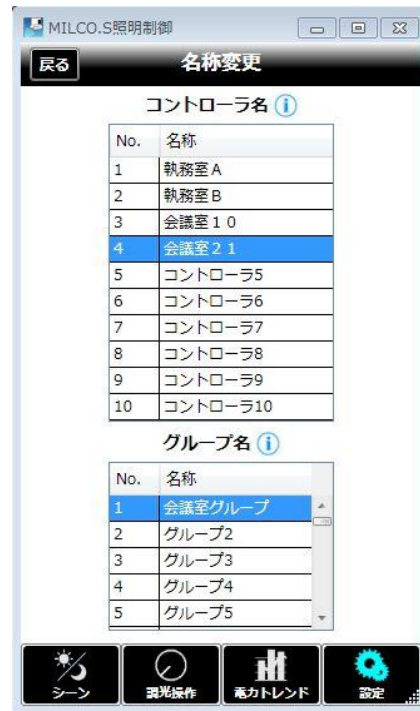


図 3-42[名称変更画面]

3-29-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> 設定メニュー一覧に戻る。 	
コントローラ名リスト、グループ名リスト	<ul style="list-style-type: none"> コントローラのアドレス、または、グループ番号の右欄に現在の名称が表示されます。 名称変更の対象とするコントローラ、グループの行をマウス左クリックで選択し、列が青い表示になった状態で更に右欄の名称表示部をマウス左クリックすると名称変更が可能な状態になります。 名称の変更が完了したらEnterキーを押すか、他の行をマウス左クリックして確定させてください。 コントローラ名、グループ名、共に最大表示幅が決められており、それを超える幅の文字列を入力した場合は確定時に最大表示幅に削られます。 最大表示幅は全て全角文字の場合で 9 文字分の幅です。半角文字の場合は文字ごとの表示幅が異なるため、最大文字数は使用する文字によって変わります。 	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> 画面を切り替えます。 タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。 	

3-30. 設定—ソフトウェア設定画面

3-30-1. 概要

本ソフトウェア自体の設定をおこないます。

Ver.1.10 ではインフォメーション表示やエラー情報などのメッセージボックスに表示されるメッセージの文字サイズを変更する事ができます。タブレットなどで本ソフトウェアを使用した際にメッセージの文字が小さくて見づらい場合には”メッセージ文字サイズ”欄のスライダーを動かして文字のポイント数を変更してください。また表示される言語（日本語/英語）に切替えられます。

3-30-2. 画面仕様

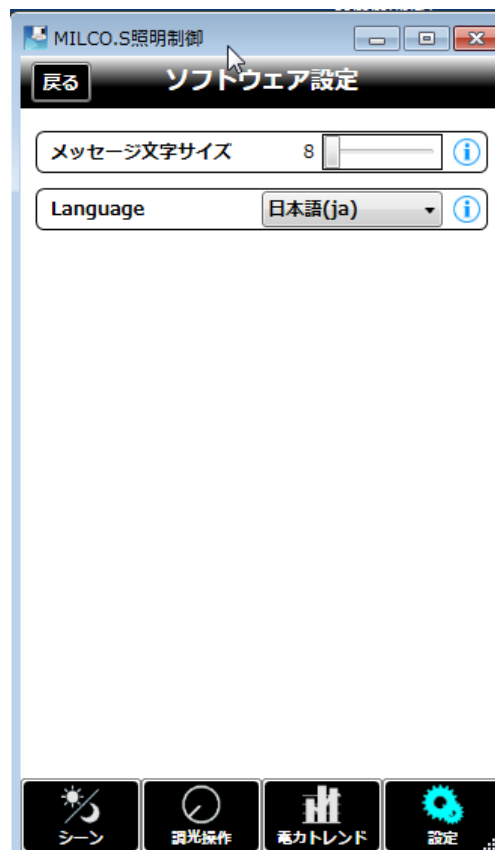


図 3-43[ソフトウェア設定画面]

3-30-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	・ 設定メニュー一覧に戻る。	
メッセージ文字サイズ欄のスライダー操作	・ メッセージの文字ポイント数がスライダーの左側に表示されます。 ・ スライダーを動かすと文字ポイント数が変化し、メッセージの文字サイズが変わります。	
Language	・ ドロップダウンメニューで日本語(ja)と English(en)が選択できます。 ・ 設定を切替えた場合はアプリケーションを再起動させる必要があります。	
タブメニュー	・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。	

以上